

# 内外経済動向

2024年4月

**日本經濟**

米**国**經濟

中**国**經濟

欧**州**經濟

# 3月月例経済報告の概要（3/22公表）

## ＜総括判断＞（変更なし）

今月

景気は、このところ足踏みが見られるが、緩やかに回復している。

- （今年2月） 景気は、このところ足踏みが見られるが、緩やかに回復している。  
（昨年11～今年1月） 景気は、このところ一部に足踏みが見られるが、緩やかに回復している。  
（昨年5～10月） 景気は、緩やかに回復している。  
（昨年3・4月） 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。  
（昨年1・2月） 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

## ＜先行き＞（変更なし）

今月

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。

ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域を巡る情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

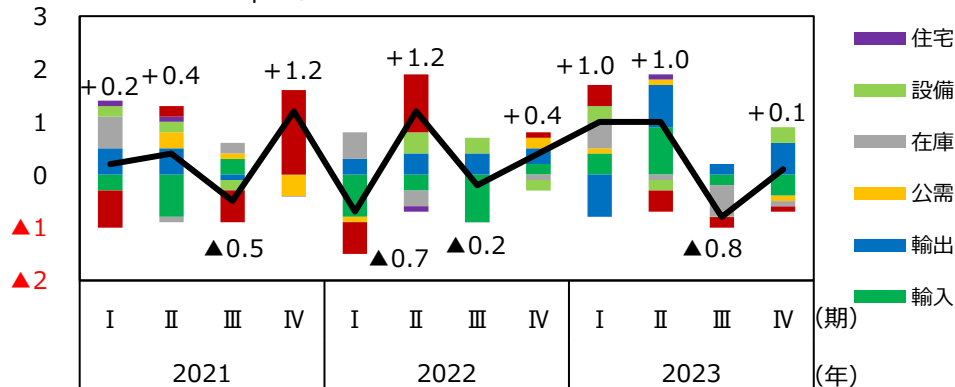
さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分に留意する必要がある。

# GDP

- 2023年10-12月期実質GDP（2次速報値）は、設備投資や輸出などのプラス寄与により、前期比+0.1%（年率+0.4%）と、2四半期ぶりのプラス成長。
- 実質で558.5兆円（年率換算）、名目で598.0兆円（年率換算）。

## 実質GDPの成長率の推移

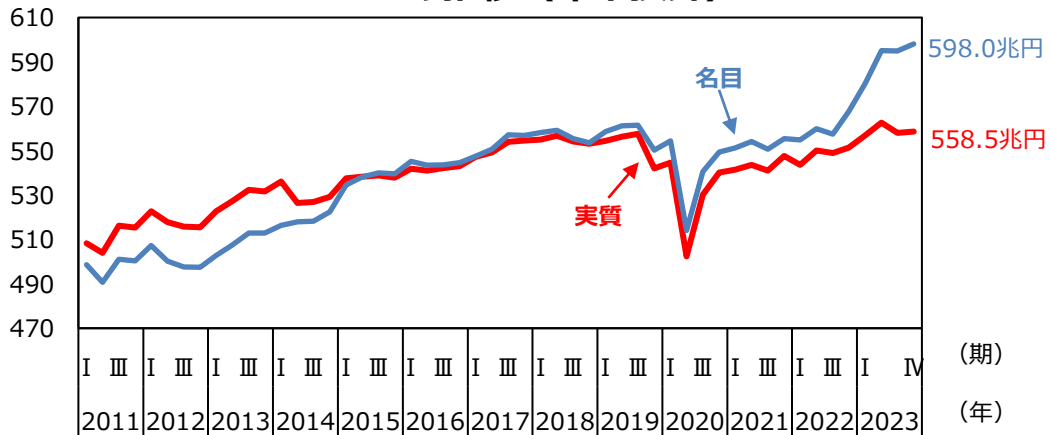
(前期比 (%), 寄与度 (%pt))



(資料) 内閣府「国民経済計算」2024年3月11日公表 (2次速報値)

(兆円)

## GDPの推移 (年率換算)



(注) 実質GDPは2015年基準

(資料) 内閣府「国民経済計算」2024年3月11日公表 (2次速報値)

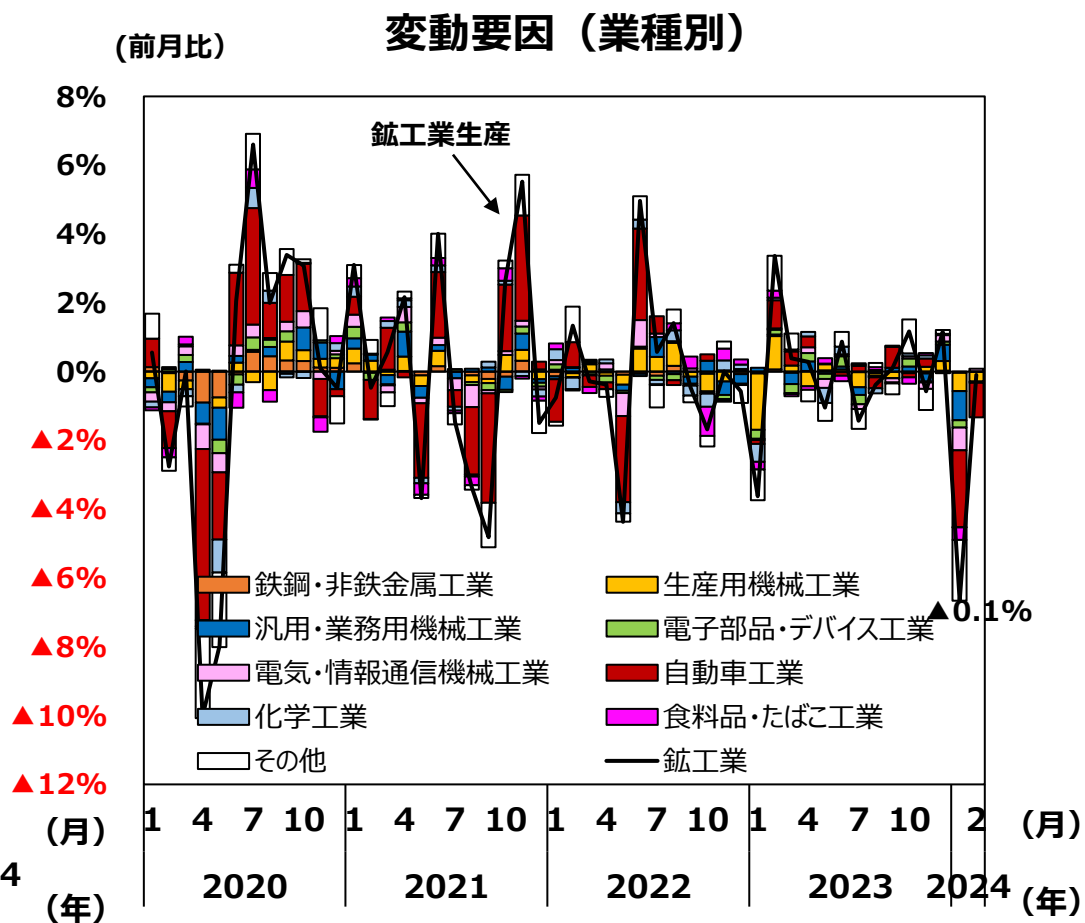
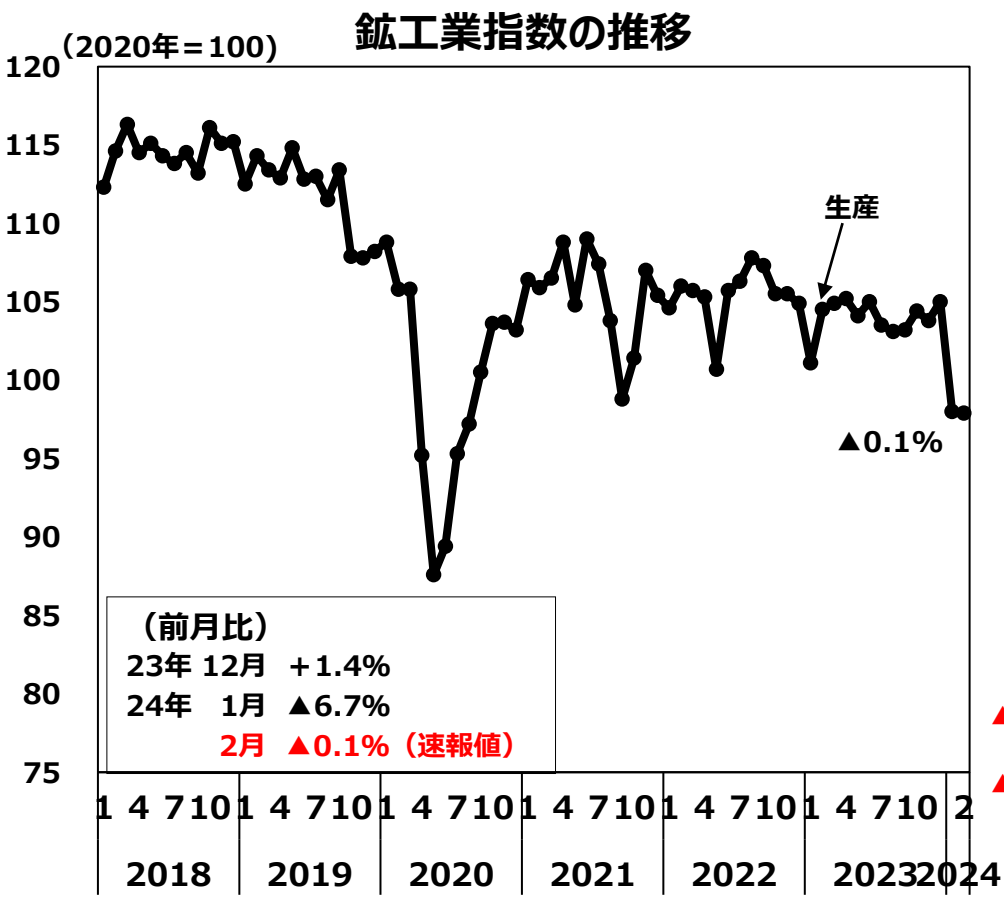
## 実質GDPの成長率の内訳

|                 | 10-12月期     |               | 備考           |
|-----------------|-------------|---------------|--------------|
|                 | 前期比%        | 寄与度%          |              |
| <b>実質GDP</b>    | <b>+0.1</b> |               | 2四半期ぶりのプラス。  |
| [前期比年率換算]       | [+0.4]      |               |              |
| <b>内需 (寄与度)</b> | -           | <b>(▲0.1)</b> | 3四半期連続のマイナス。 |
| <b>民間 (寄与度)</b> | -           | <b>(+0.0)</b> |              |
| 民間消費            | <b>▲0.3</b> | <b>(▲0.1)</b> | 3四半期連続のマイナス。 |
| 住宅投資            | <b>▲1.0</b> | <b>(▲0.0)</b> | 2四半期連続のマイナス。 |
| 設備投資            | <b>+2.0</b> | <b>(+0.3)</b> | 3四半期ぶりのプラス。  |
| 民間在庫            | -           | <b>(▲0.1)</b> | 3四半期連続のマイナス。 |
| <b>公需 (寄与度)</b> | -           | <b>(▲0.1)</b> |              |
| 政府消費            | <b>▲0.2</b> | <b>(▲0.0)</b> | 2四半期ぶりのマイナス。 |
| 公共投資            | <b>▲0.8</b> | <b>(▲0.0)</b> | 2四半期連続のマイナス。 |
| <b>外需 (寄与度)</b> | -           | <b>(+0.2)</b> | 2四半期ぶりのプラス。  |
| 輸出              | <b>+2.6</b> | <b>(+0.6)</b> | 3四半期連続のプラス。  |
| 輸入              | <b>+1.7</b> | <b>(▲0.4)</b> | 2四半期連続のプラス。  |
| <b>名目GDP</b>    | <b>+0.5</b> |               | 2四半期ぶりのプラス。  |

(資料) 内閣府「国民経済計算」2024年3月11日公表 (2次速報値)

# 生産

- 24年2月は、前月比▲0.1%と2ヶ月連続の低下。1月は、一部自動車メーカー等の生産・出荷停止や、能登半島地震などの影響により大きく低下したが、2月も引き続き低下。先行きは上昇が見込まれている。
- 24年2月の生産の基調判断は、「生産は一進一退ながら弱含み」（据え置き）。



（注）季節調整値  
 （資料）経済産業省「鋳工業指数」2024年3月29日公表（速報値）

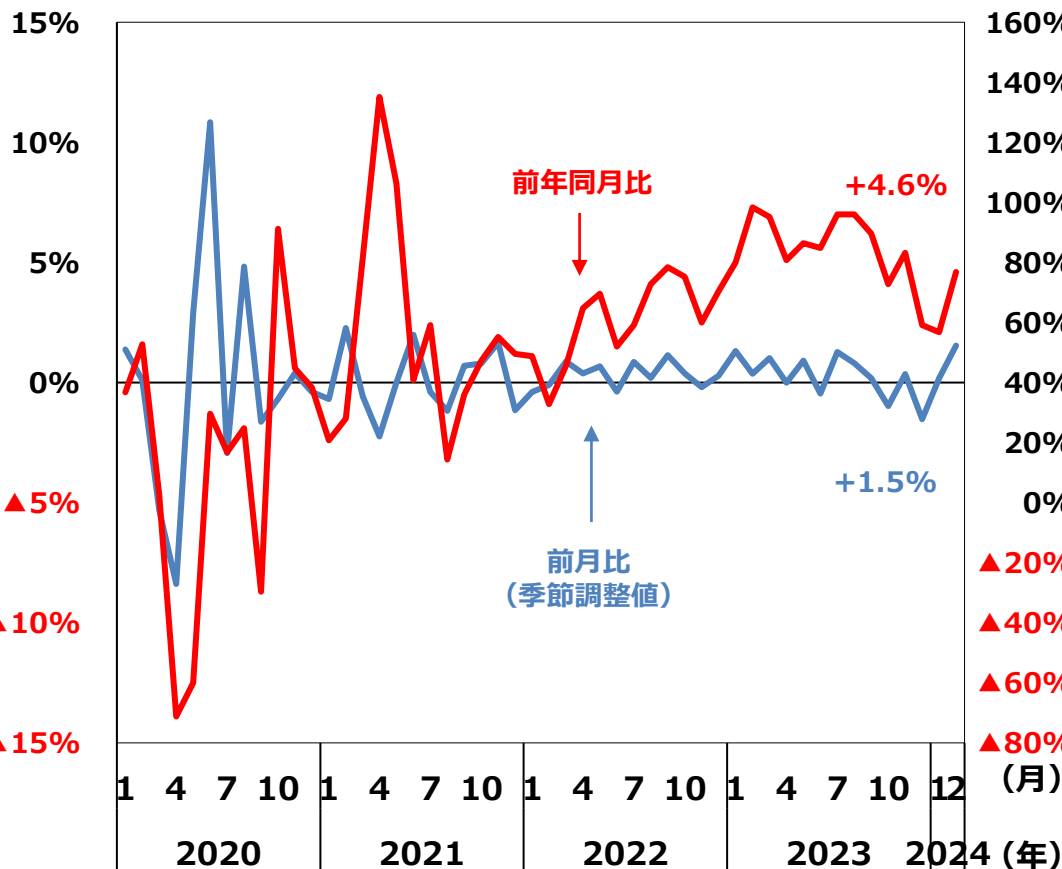
（注）季節調整値  
 （資料）経済産業省「鋳工業指数」2024年3月29日公表（確報値）

# 消費①

- 24年2月の小売業販売額は、12.9兆円。前年同月比は+4.6%で24か月連続の増加となり、前月比は+1.5%で2か月連続の増加となった。
- 主要な業態である百貨店、コンビニ、スーパーは、いずれも前年同月比で増加となった。

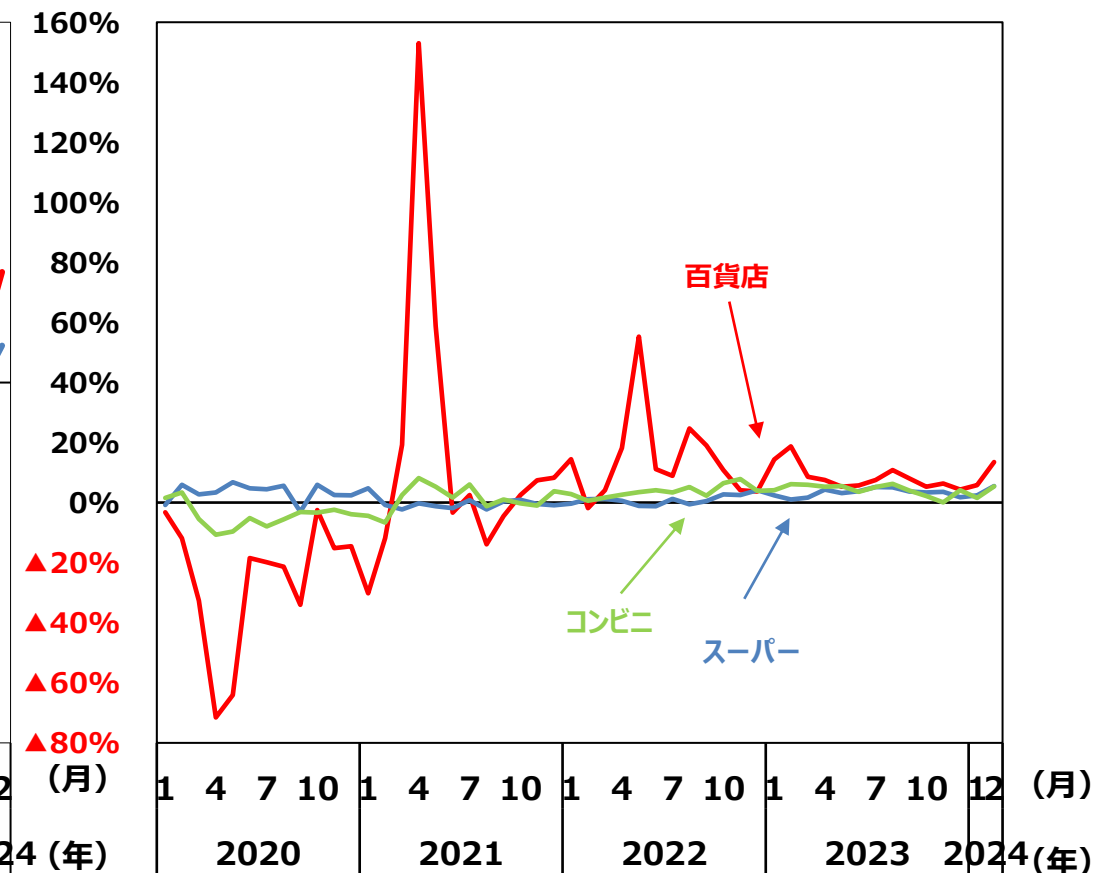
(前年同月比、前月比)

## 小売業販売額



(前年同月比)

## 百貨店・スーパー・コンビニ (全店)



(資料) 経済産業省「商業動態統計」2024年3月29日公表 (速報値)

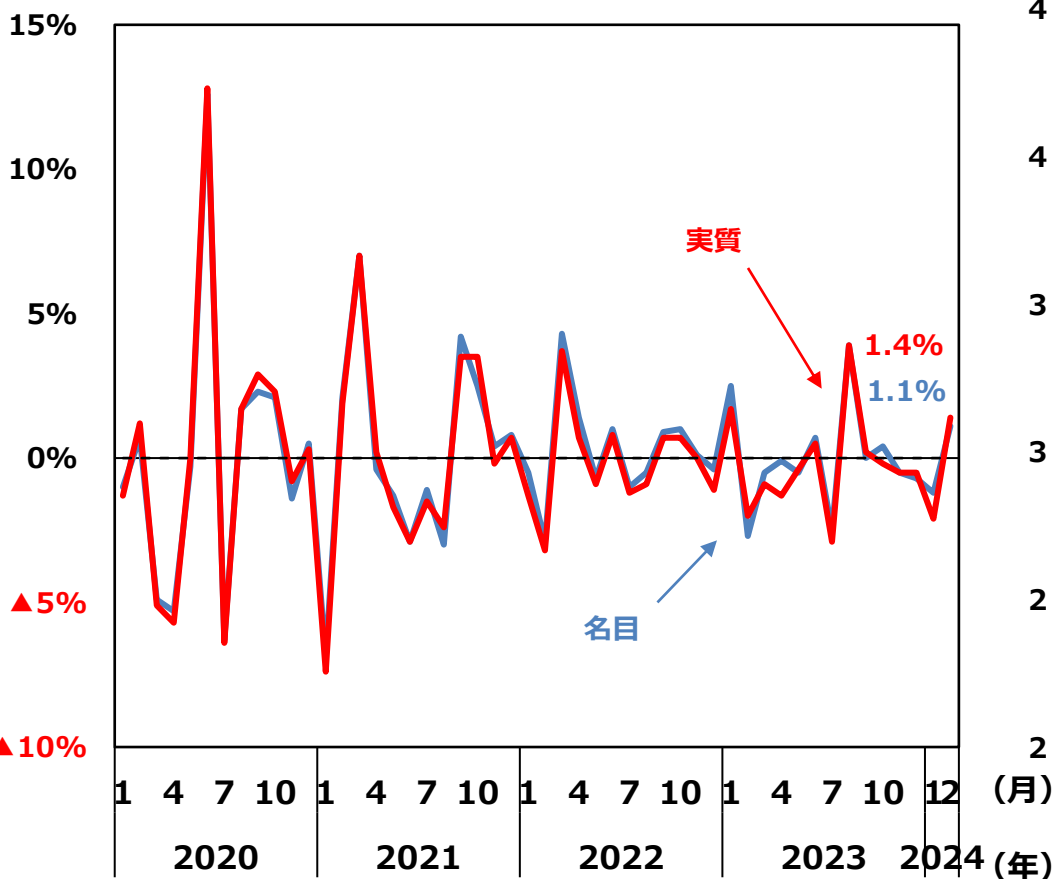
(資料) 経済産業省「商業動態統計」2024年3月29日公表 (速報値)

## 消費②

- 24年2月の実質家計消費支出は前月比+1.4%と、5か月ぶりのプラス（前年同月比は▲0.5%と12か月連続のマイナス）。なお、名目家計消費支出は前月比+1.1%（前年同月比は+2.8%）。
- 消費者マインドは、改善している。

### 家計消費支出の推移

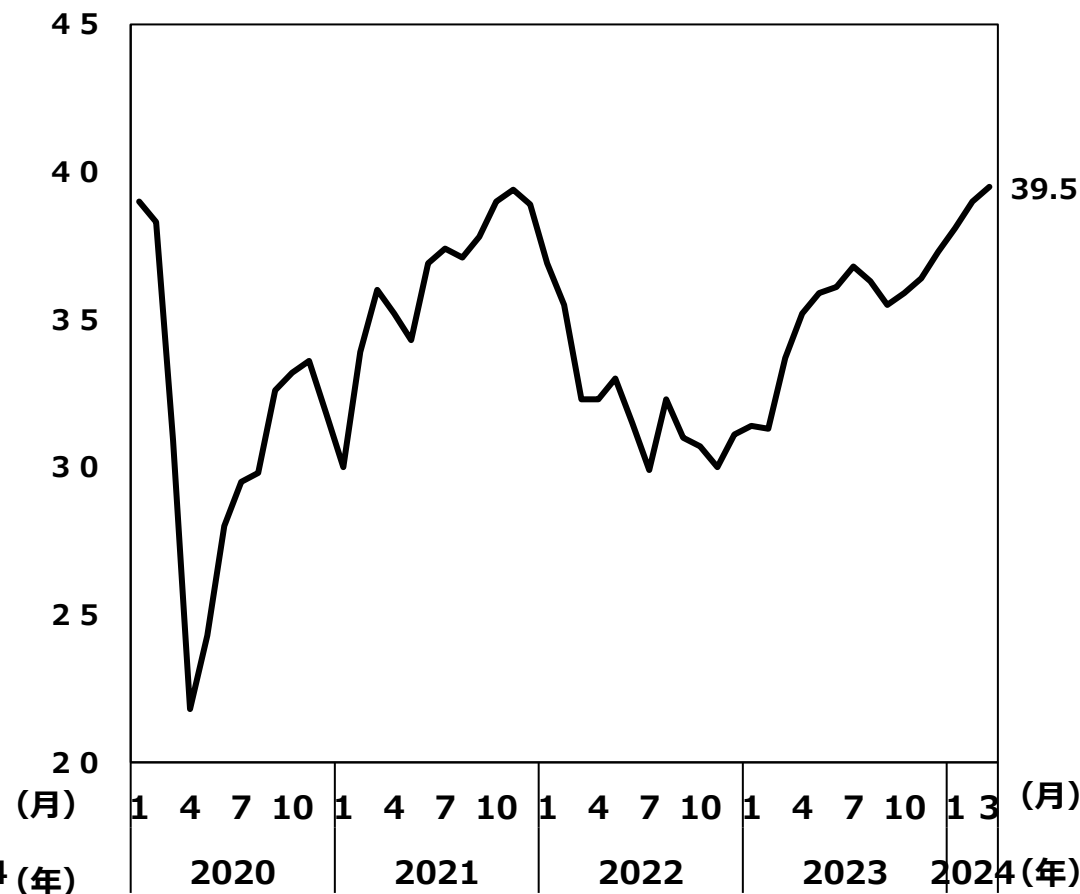
(前月比)



(注) 二人以上の世帯、季節調整値。

(資料) 総務省「家計調査」2024年4月5日公表

### 消費者態度指数



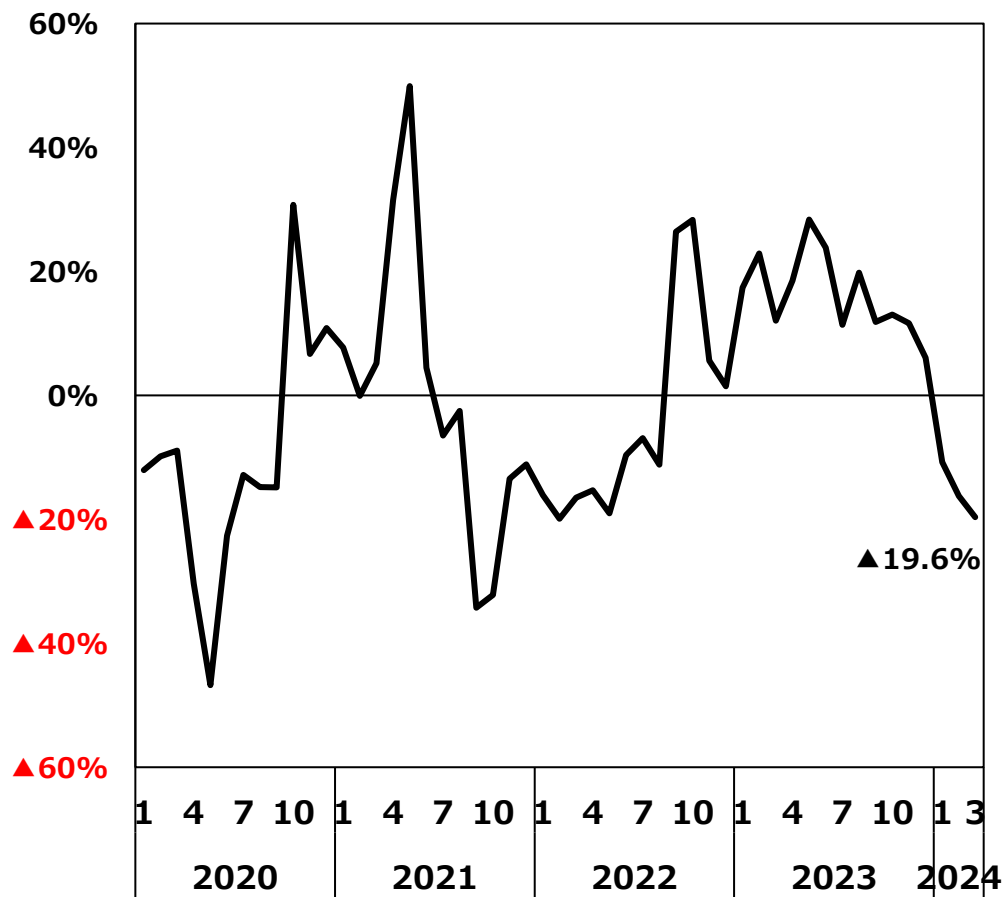
(注) 二人以上の世帯、季節調整値。

(資料) 内閣府「消費動向調査」2024年4月9日公表

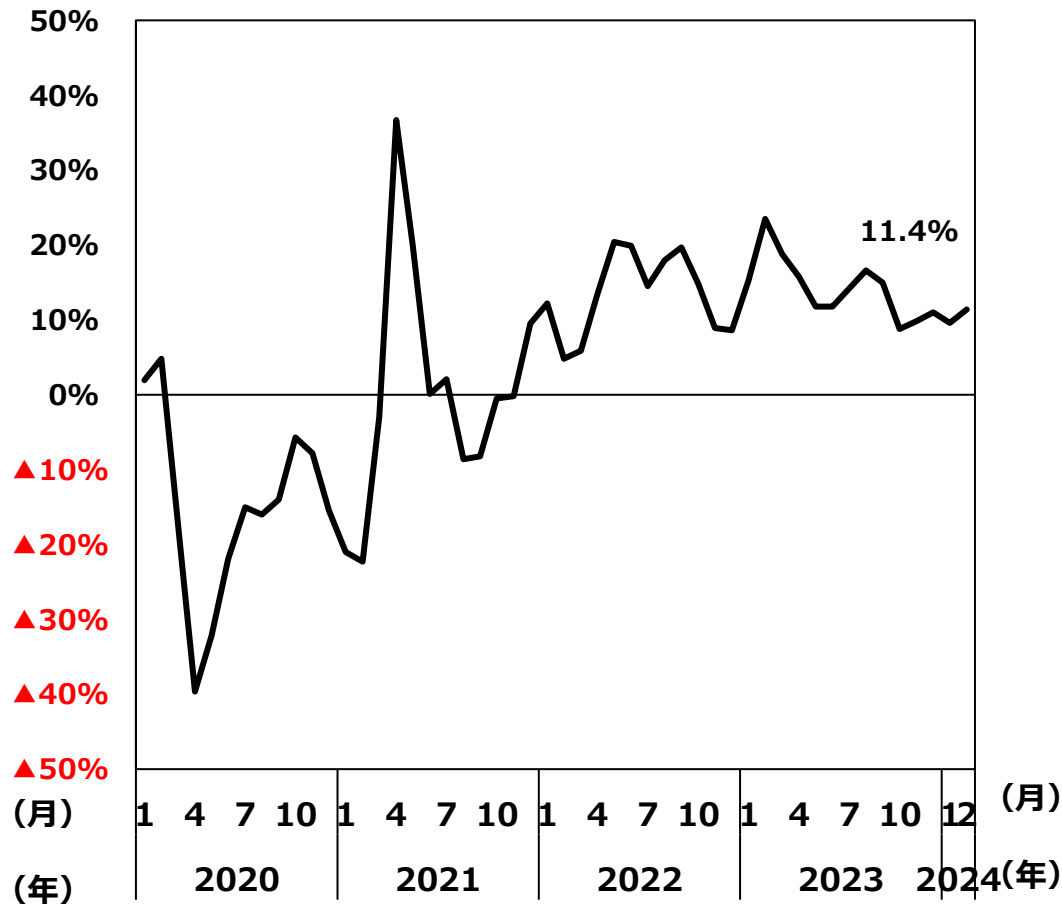
# 消費③

- 24年3月の新車販売台数は38.4万台。前年同月比▲19.6%のマイナス。
- 24年2月の外食売上高は前年同月比+11.4%のプラス。

(前年同月比) 新車販売台数 (乗用車計)



(前年同月比) 外食売上高



(資料) 日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」2024年4月1日公表  
 全国軽自動車協会連合会「軽四輪車 新車販売台数」2024年4月1日公表

(資料) 日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」2024年3月25日公表

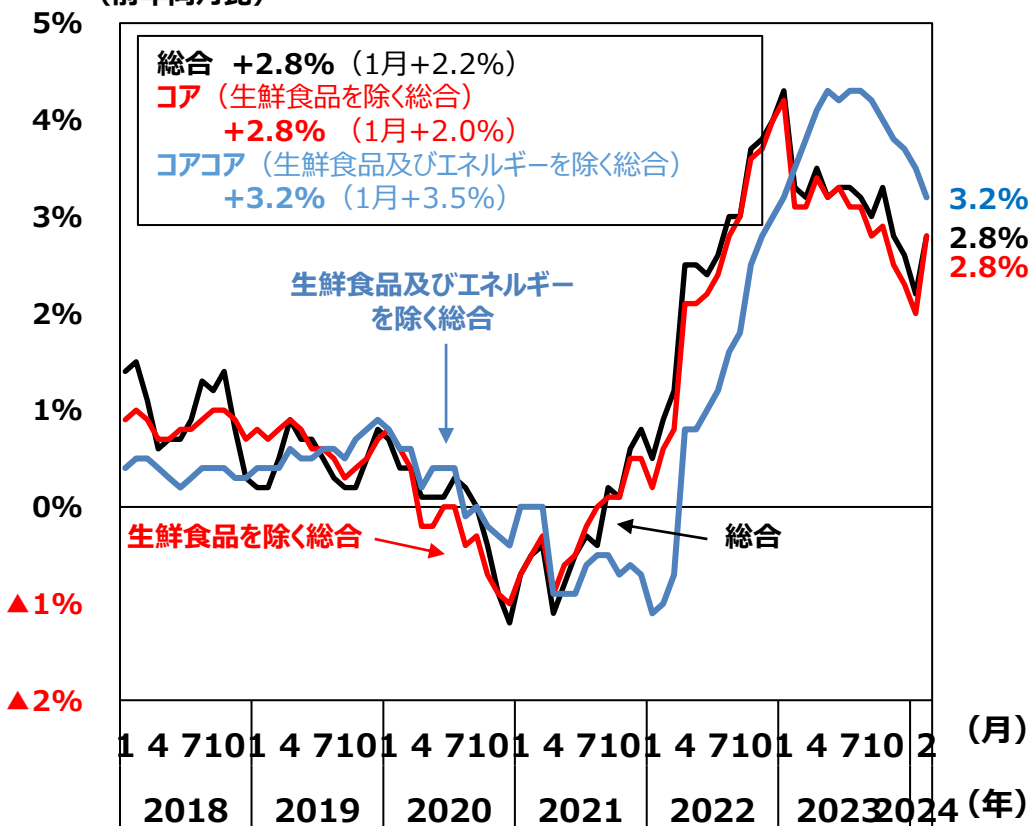


# 物価①

- 24年2月の消費者物価指数（総合）は前年同月比+2.8%、生鮮食品を除く総合（コア）は同+2.8%、生鮮食品及びエネルギーを除く総合（コアコア）は同+3.2%となった。

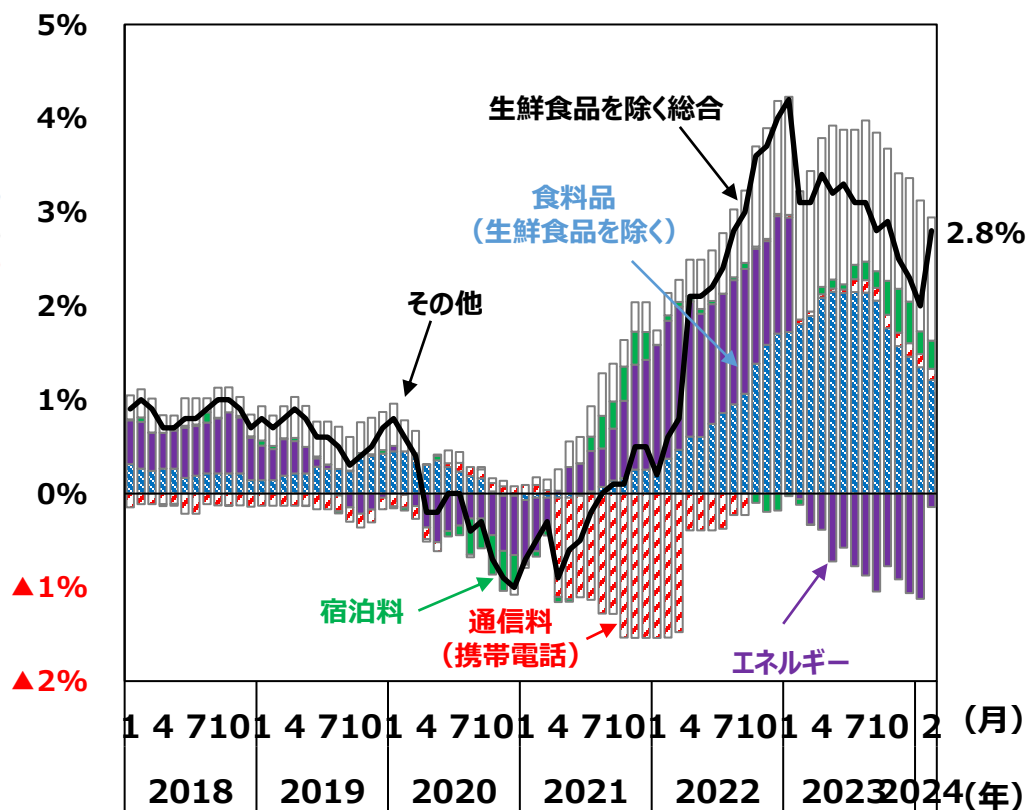
## 消費者物価指数の推移

(前年同月比)



(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年3月22日公表

## (前年同月比) 生鮮食品を除く総合の寄与度分解



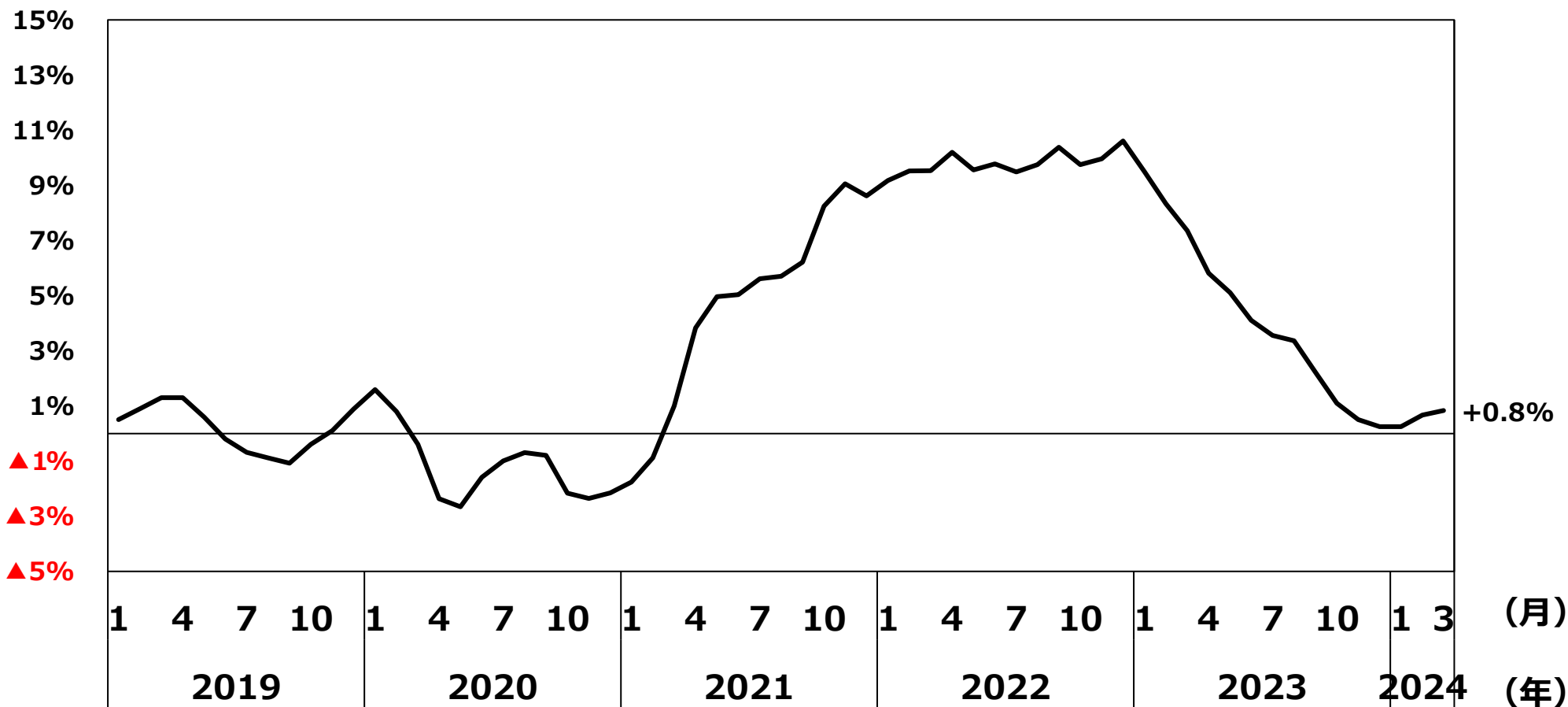
(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年3月22日公表

## 物価②

- 24年3月の国内企業物価指数は前年同月比+0.8%（24年2月：同+0.7%）と加速。銅や金地金の価格上昇に伴い、非鉄金属が大きく上昇したことが影響。

### 国内企業物価指数の推移

(前年同月比)



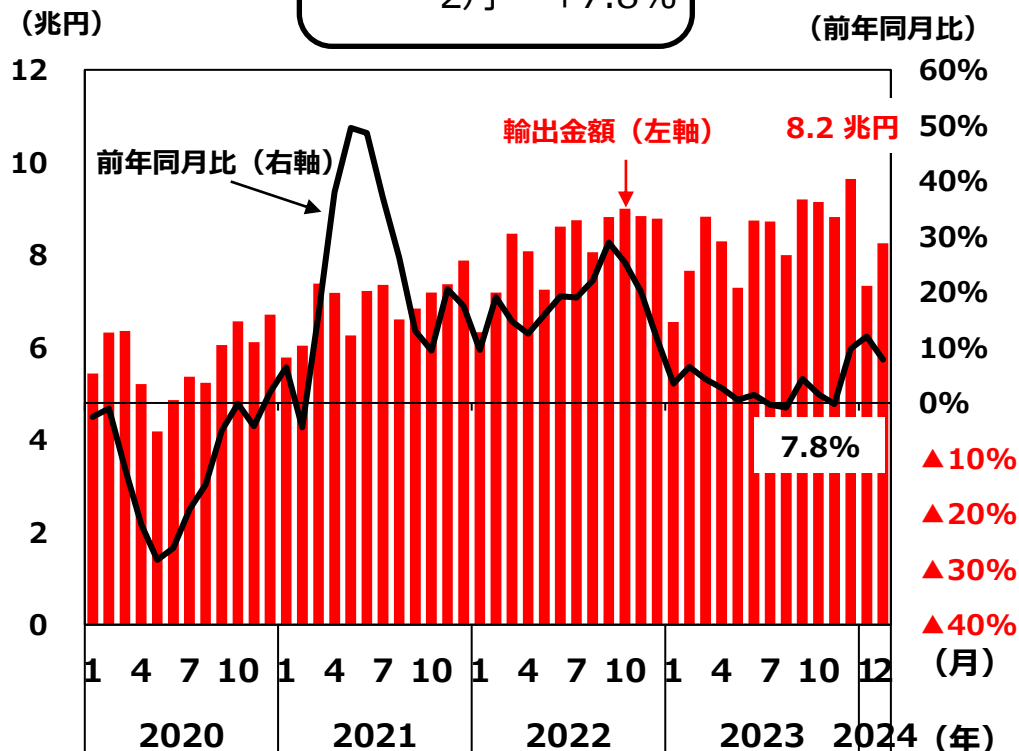
+0.8%

# 輸出

- 24年2月の輸出金額（8.2兆円）は前年同月比+7.8%と3ヶ月連続の増加。
- 実質輸出は前月比▲4.0%と2ヶ月連続の減少。

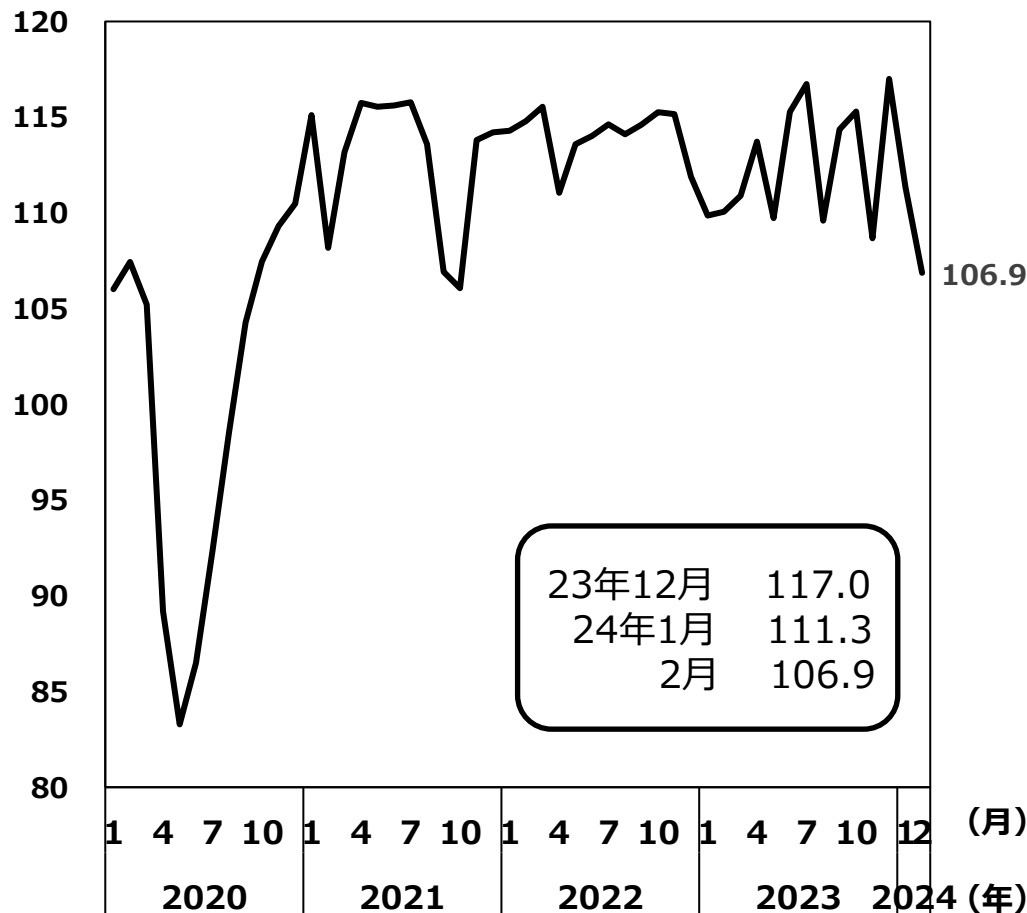
## 輸出金額の推移（原数値）

23年12月 +9.7%  
24年1月 +11.9%  
2月 +7.8%



(資料) 財務省「貿易統計」2024年3月28日公表（確速値）

## (2020年=100) 実質輸出の推移（季節調整値）



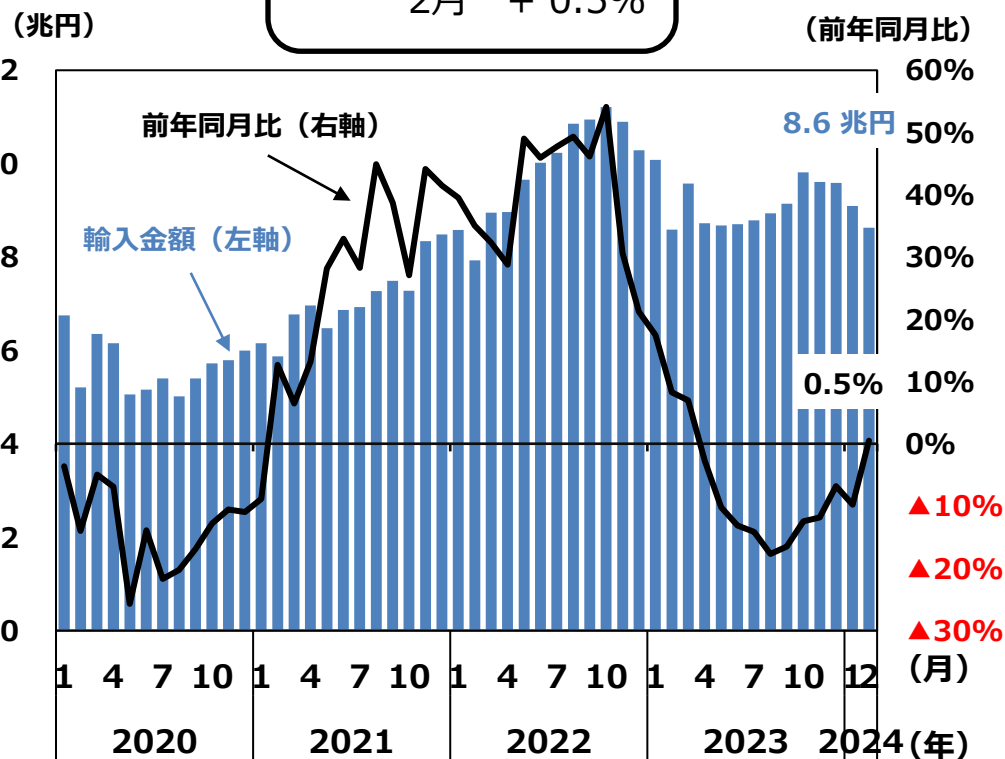
(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2024年3月21日公表

# 輸入

- 24年2月の輸入金額（8.6兆円）は前年同月比+0.5%と11ヶ月ぶりの増加。
- 実質輸入は前月比+4.0%と2ヶ月ぶりの増加。

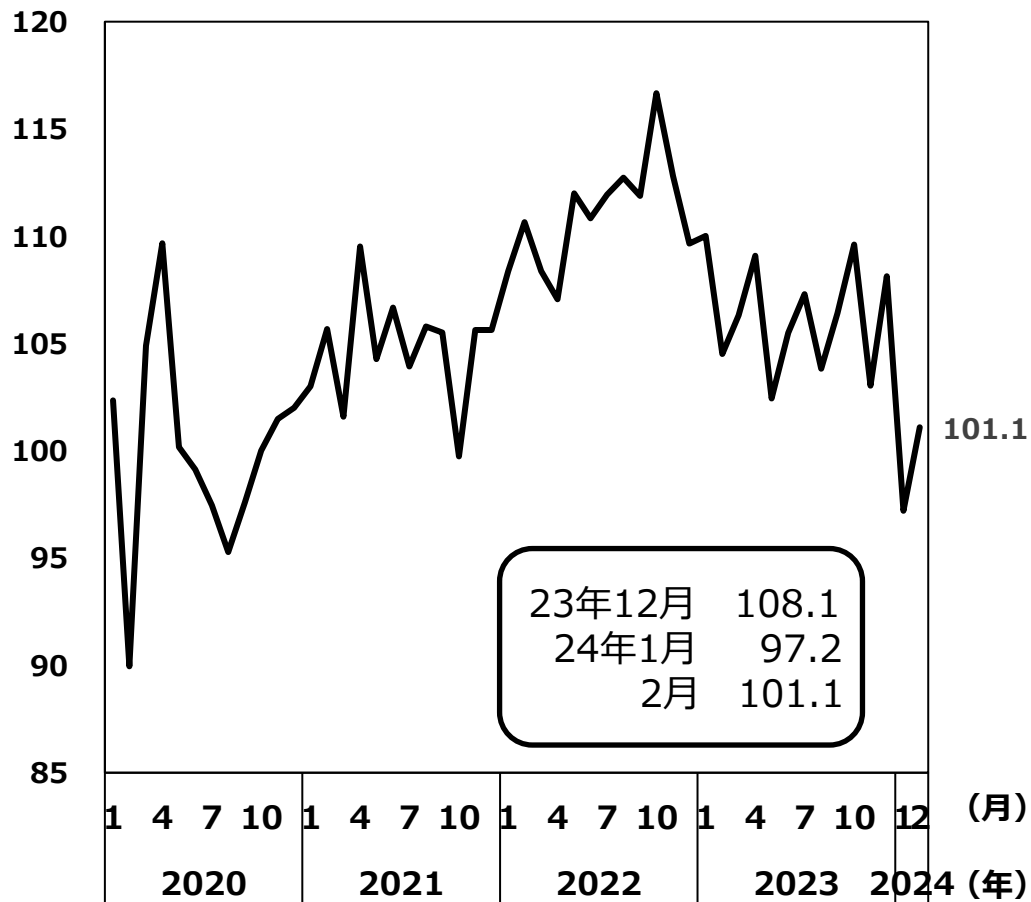
## 輸入金額の推移（原数値）

23年12月 ▲ 6.8%  
 24年1月 ▲ 9.8%  
 2月 + 0.5%



(資料) 財務省「貿易統計」2024年3月28日公表（確速値）

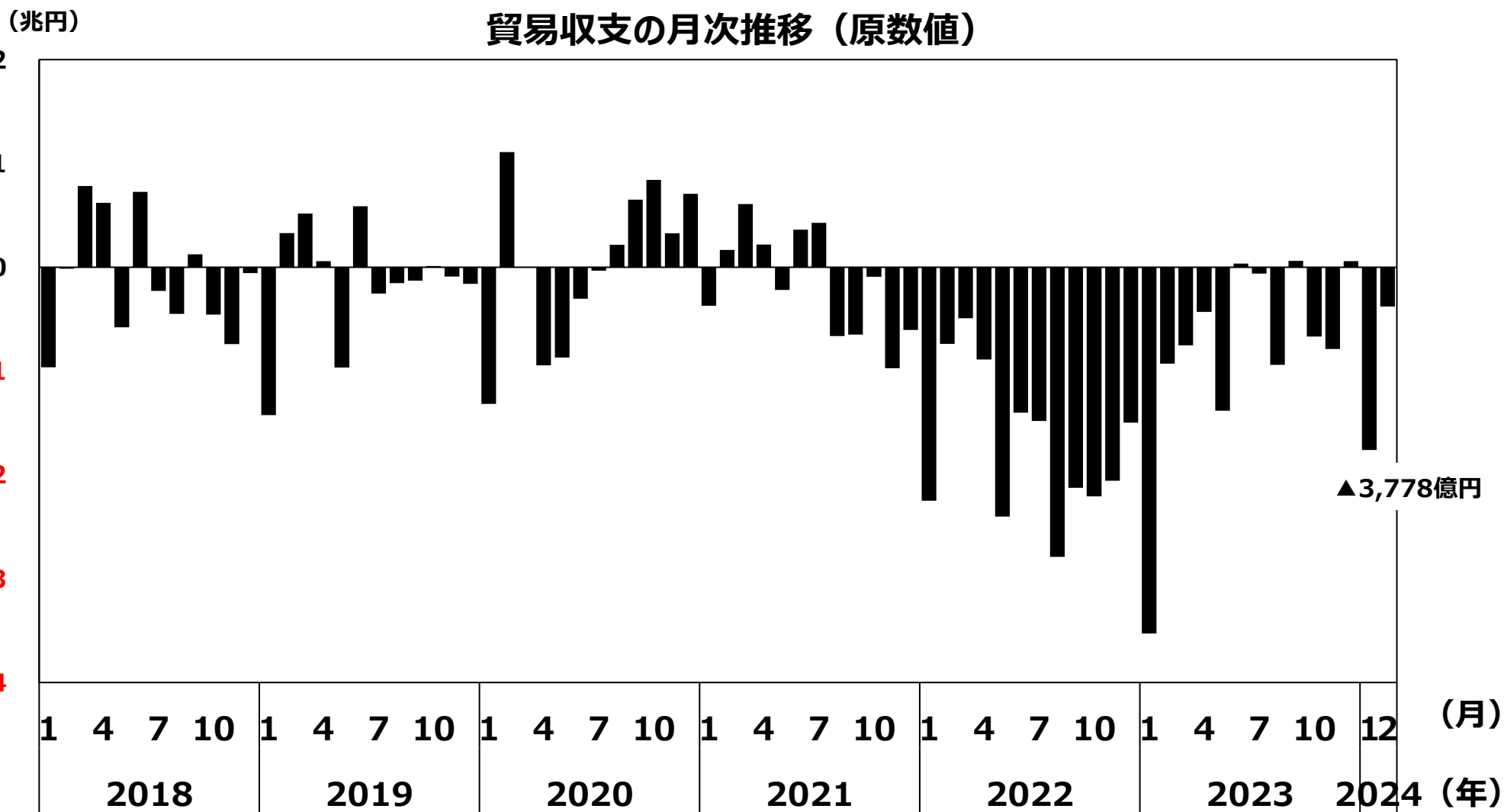
## (2020年=100) 実質輸入の推移（季節調整値）



(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2024年3月21日公表

# 貿易収支

- 24年2月の貿易収支は、▲3,778億円と2ヶ月連続の赤字。

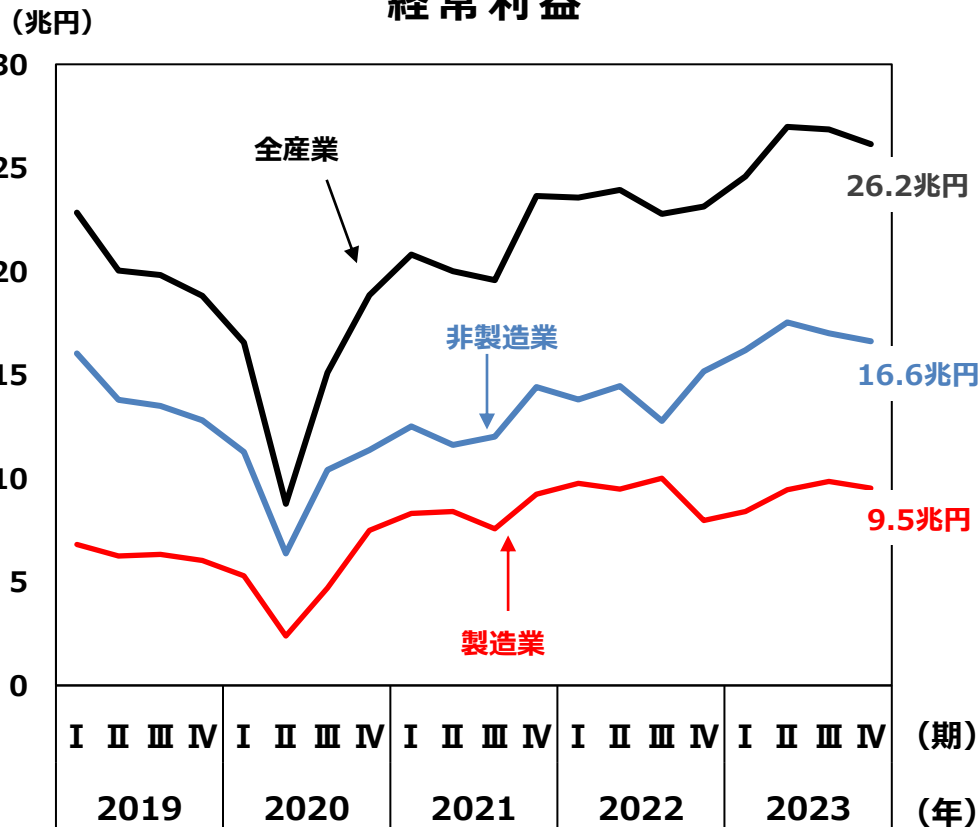


(資料) 財務省「貿易統計」2024年3月28日公表 (確速値)

# 企業収益 業況判断

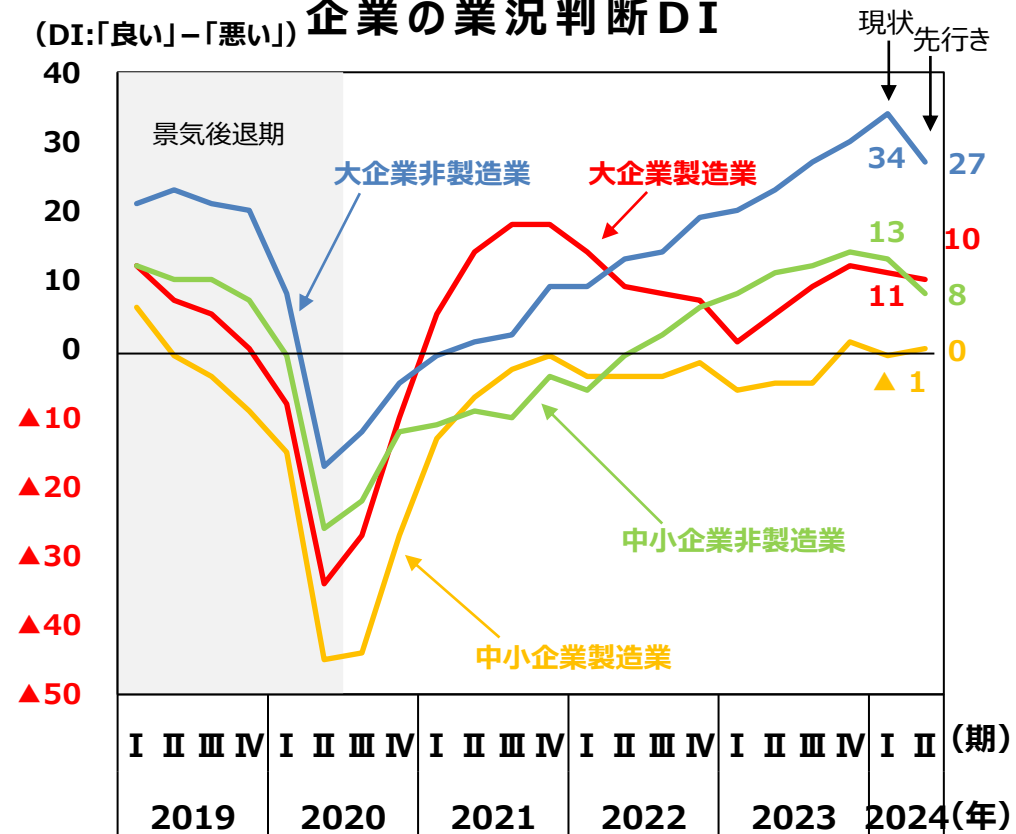
- 23年10-12月期の経常利益は、全規模全産業で26.2兆円(前期比▲2.6%)と2四半期連続の減益。製造業は同▲3.4%と4四半期ぶりの減益となり、非製造業は同▲2.2%と2四半期連続の減益となった。
- 24年3月調査時点の業況は、大企業製造業、中小企業製造業・非製造業は悪化、大企業非製造業は改善した。先行きは、中小企業製造業は改善、大企業製造業・非製造業、中小企業非製造業は悪化が見込まれる。

## 経常利益



(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く。  
 (資料) 財務省「法人企業統計季報」2024年3月4日公表

## 企業の業況判断DI

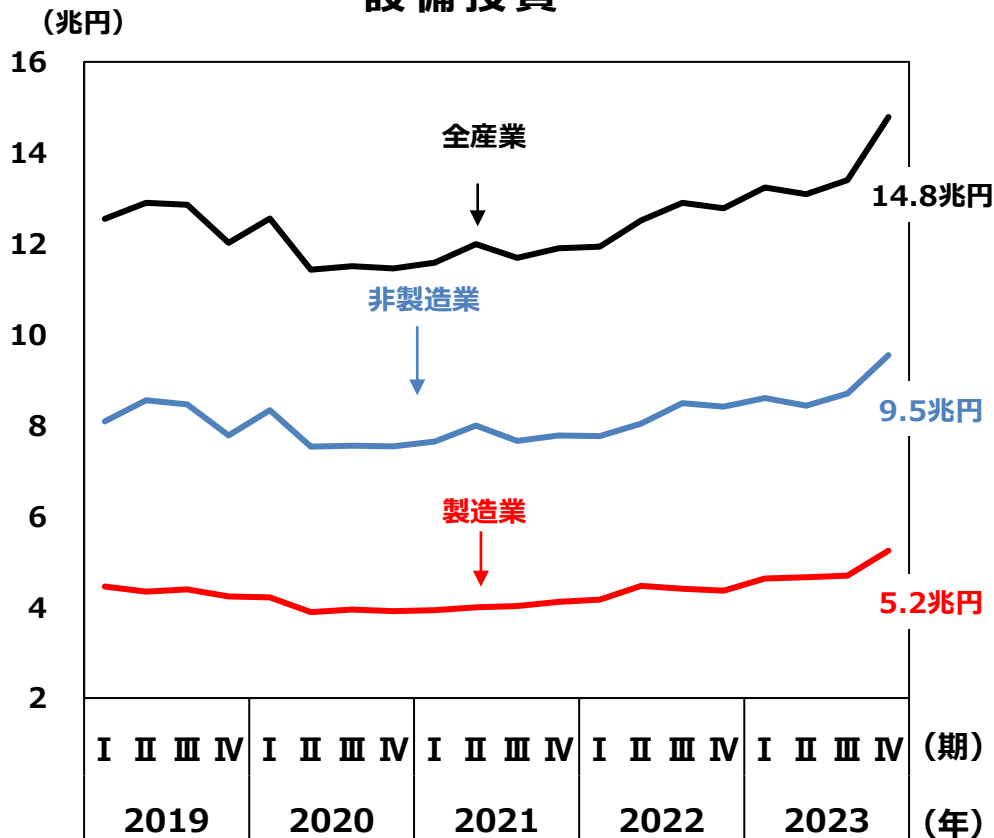


(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2024年4月1日公表

# 設備投資

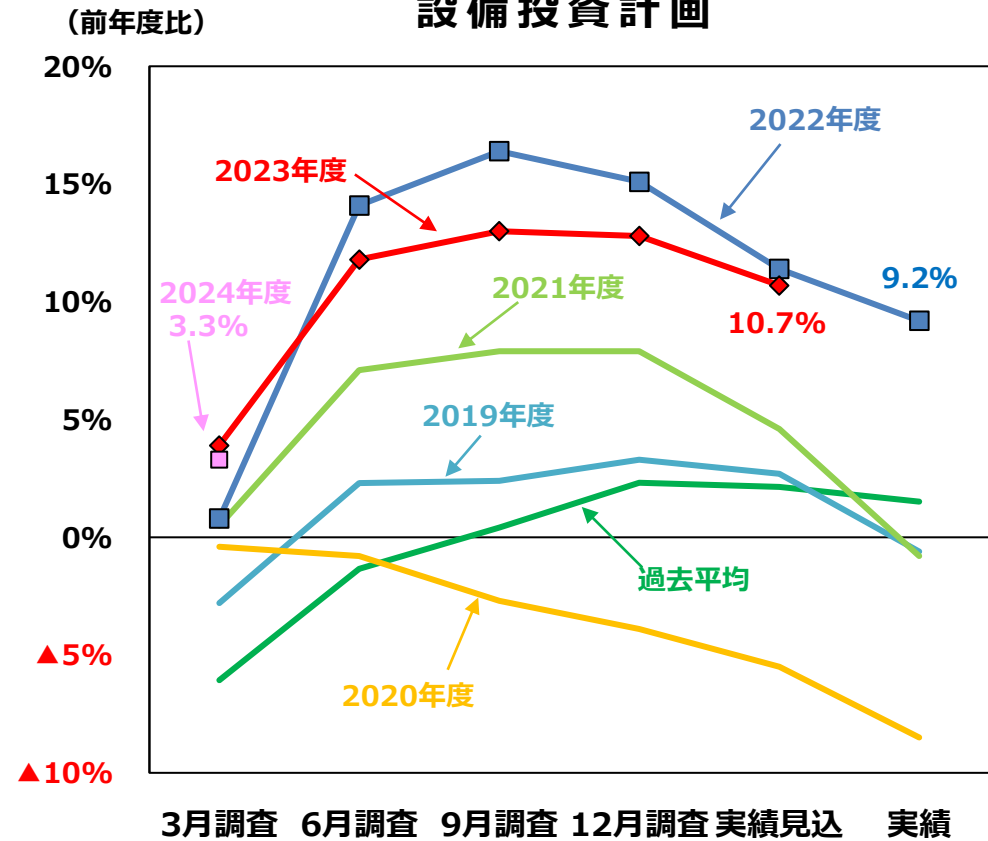
- 23年10-12月期の設備投資は全規模全産業で14.8兆円（前期比+10.4%）と、2四半期連続の増加。製造業は同+11.7%と4四半期連続の増加となり、非製造業は同+9.6%と2四半期連続の増加となった。
- 24年3月調査時点の23年度設備投資実績見込みは全規模全産業で前年度比+10.7%、24年度設備投資計画は全規模全産業で同+3.3%。

## 設備投資



(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く、ソフトウェアを含む。  
 (資料) 財務省「法人企業統計季報」2024年3月4日公表

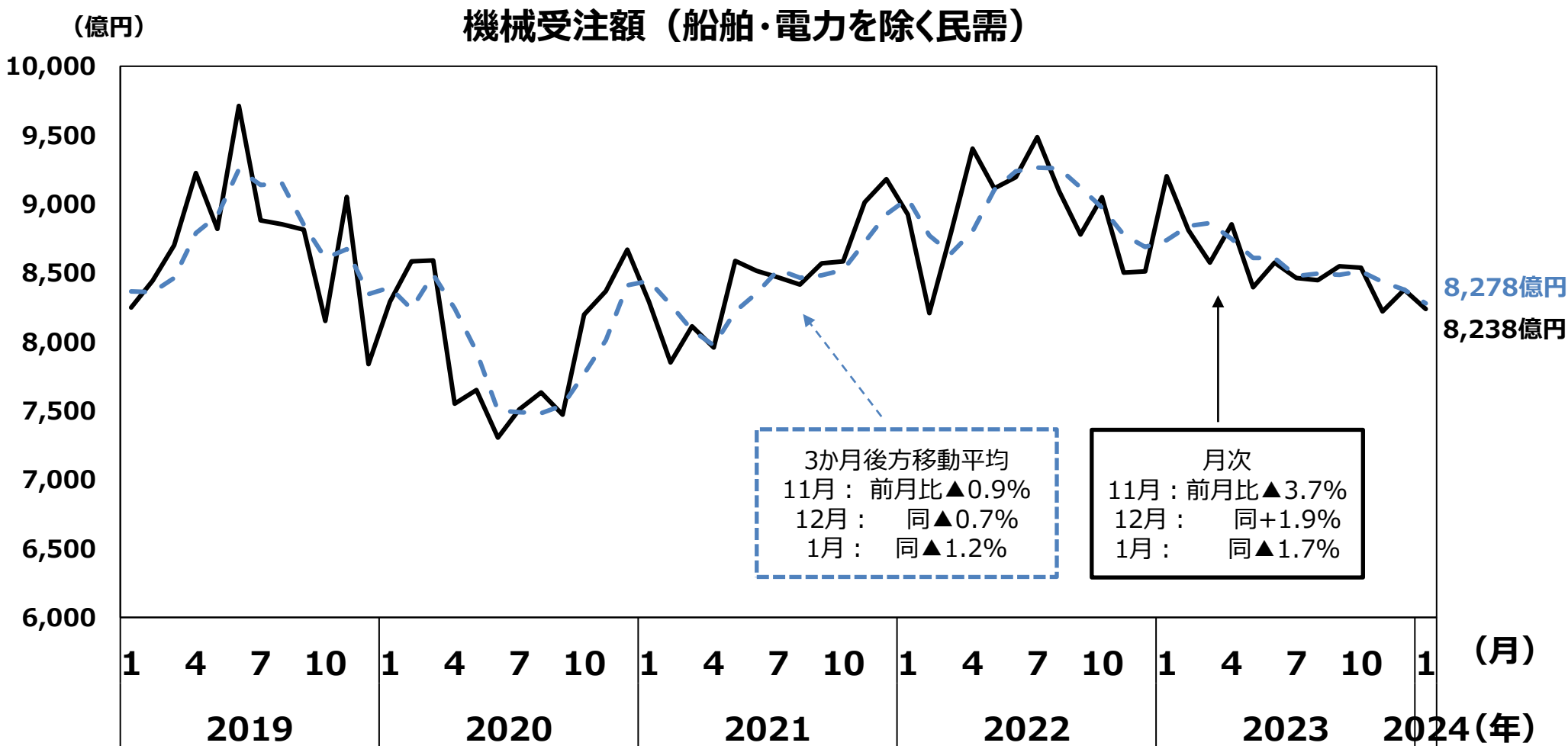
## 設備投資計画



(注) 「過去平均」は、1982年度～2018年度の平均値。  
 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額・研究開発投資額を含まない。  
 (資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2024年4月1日公表

# 機械受注

- 1月の機械受注額(船舶・電力を除く民需)は、8,238億円（前月比▲1.7%）と、2か月ぶりの減少。
- 基調判断は「足元は弱含んでいる」と、前月の「足踏みがみられる」から下方修正。



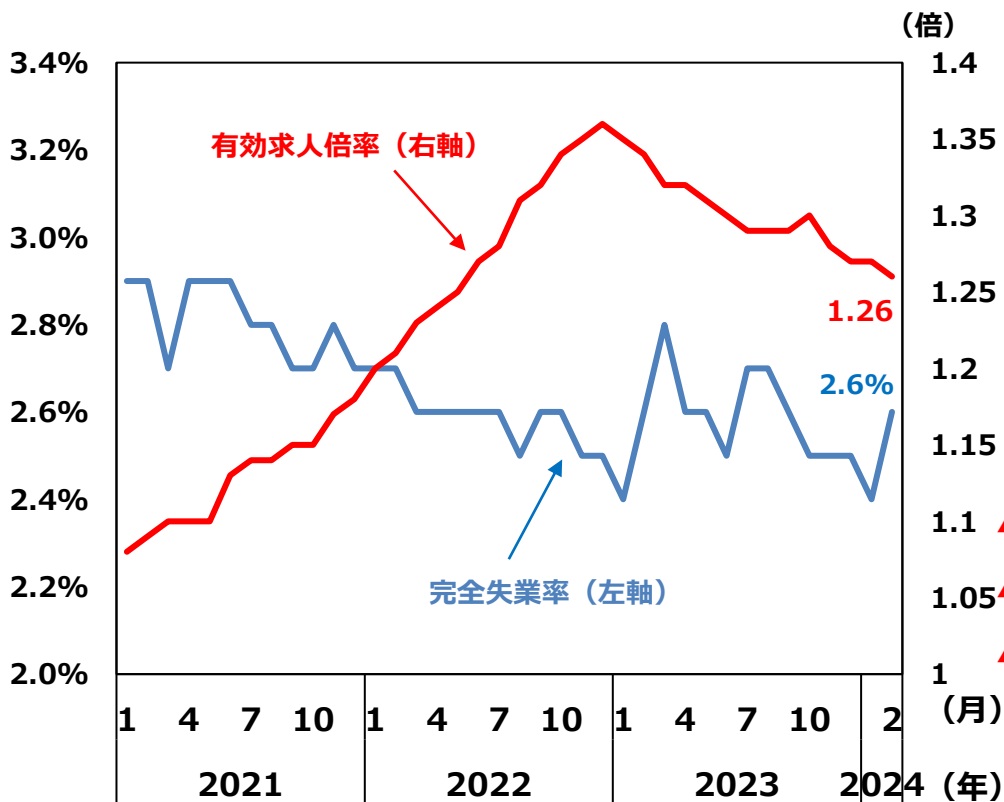
(資料) 内閣府「機械受注統計」2024年3月18日公表



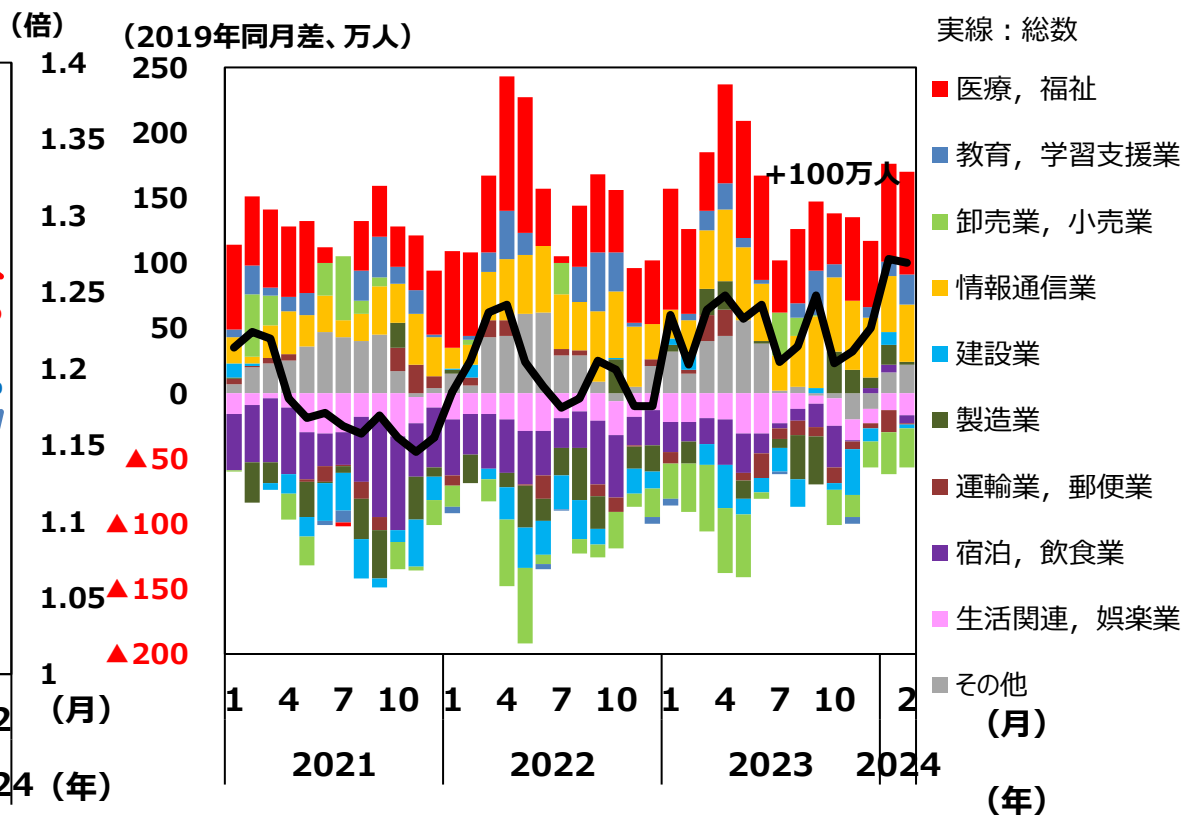
# 雇用

- 24年2月の完全失業率は2.6%と前月から上昇、有効求人倍率は1.26倍と、前月から低下。
- 24年2月の雇用者数は、19年同月差で+100万人。産業別では、情報通信業、医療、福祉等がコロナ前との比較で増加。

## 失業率・有効求人倍率



## 雇用者数の増減 (産業別)



(注) 季節調整値

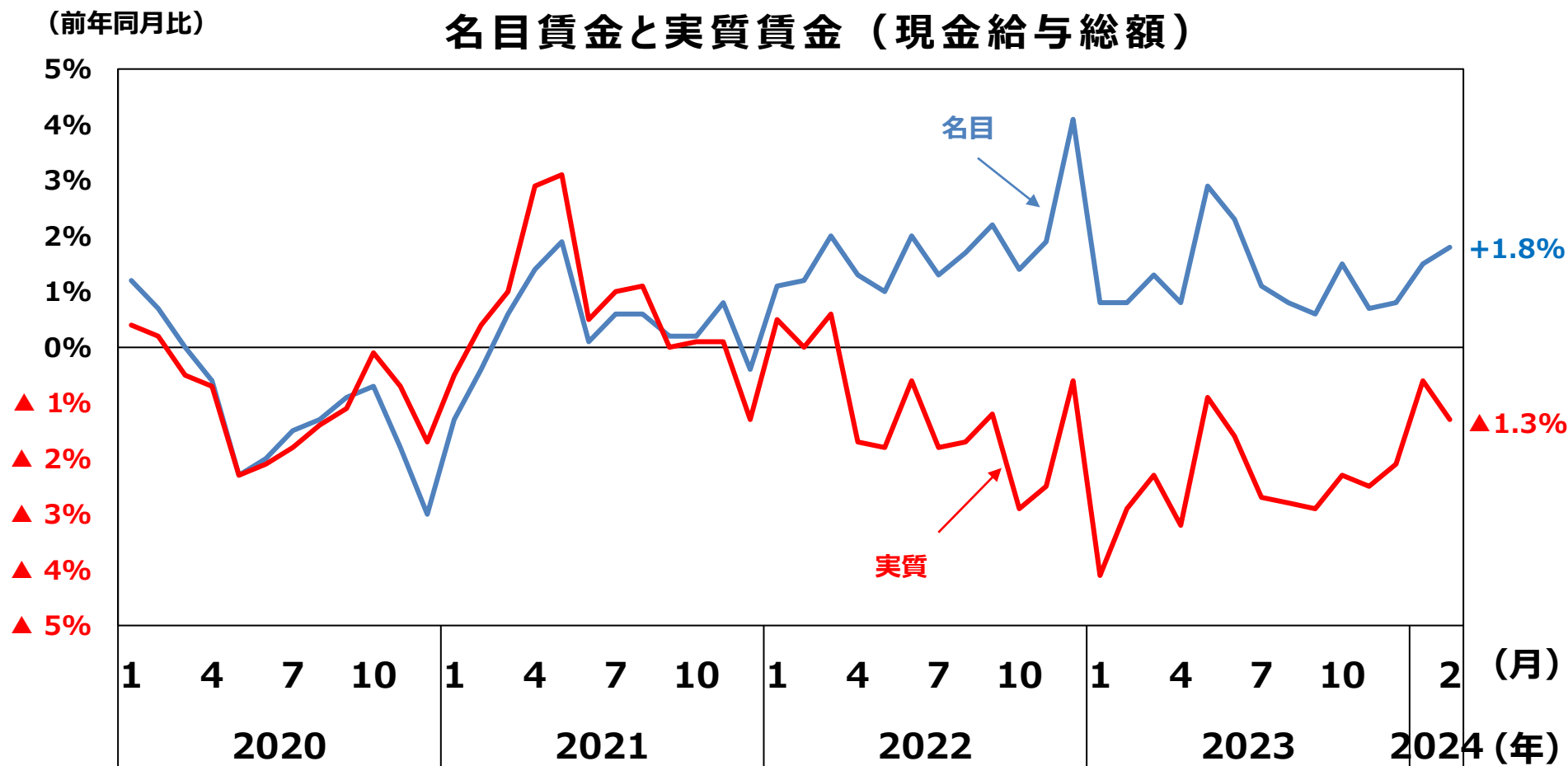
(資料) 総務省「労働力調査」2024年3月29日公表

厚生労働省「一般職業紹介状況」2024年3月29日公表

(資料) 総務省「労働力調査」2024年3月29日公表

# 賃金

- 24年2月の名目賃金は前年同月比+1.8%、実質賃金は同▲1.3%。
- 名目賃金は、26ヶ月連続のプラス。「所定内給与」の伸びが同+2.2%と拡大したことや、「所定外給与」が同▲1.0%と減少幅を縮小したことにより、全体としては前月から上昇幅が拡大。実質賃金は、23ヶ月連続のマイナスとなり、減少幅が拡大。実質化で用いられているCPI（持ち家の帰属家賃除く）は+2.5%→+3.3%に伸びており、激変緩和の裏もあり物価上昇率が上昇した影響が考えられる。



日本經濟

美国經濟

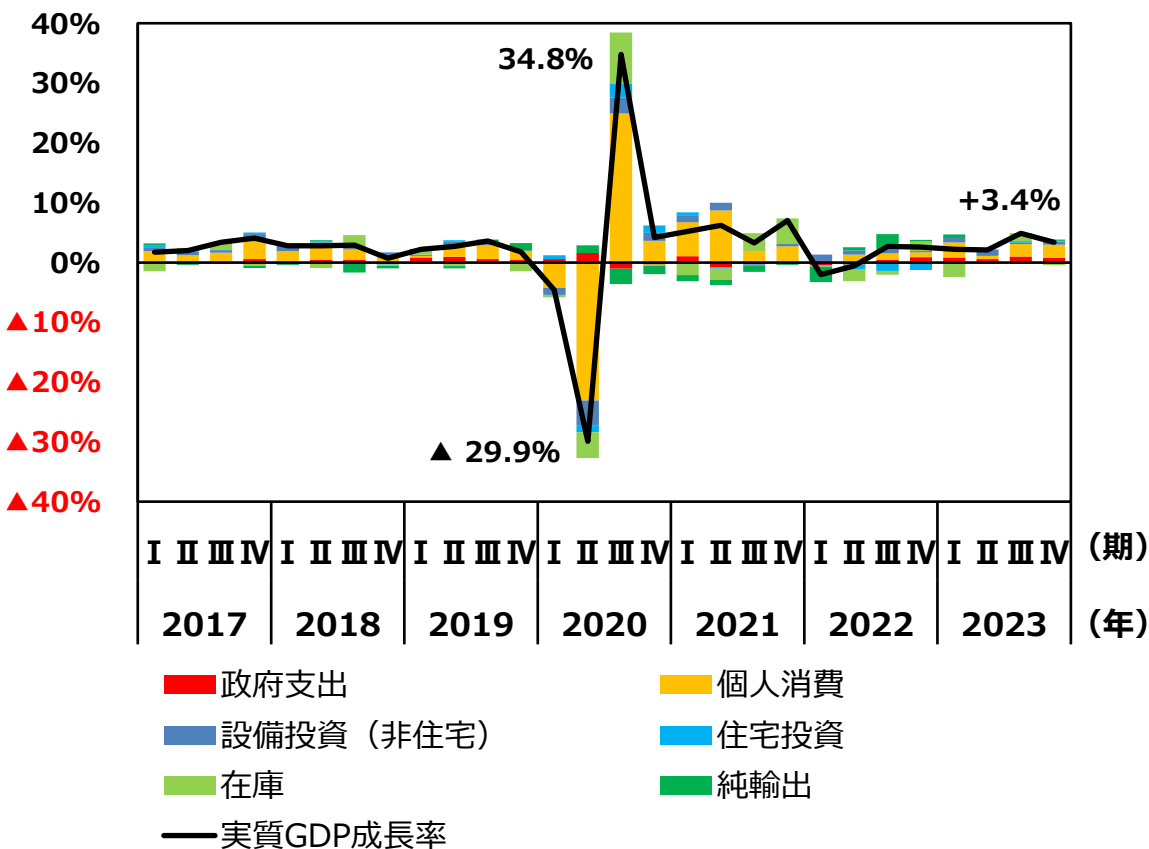
中国經濟

欧州經濟

# 米国 GDP

- 23年10-12月期実質GDP成長率（最終推計）は、前期比+3.4%（二次推計：+3.2%）と、6四半期連続のプラス成長となった。個人消費の高い伸びや純輸出の押し上げがプラスに寄与した。

(前期比年率) **米国実質GDP寄与度（需要項目別）**



**需要項目別・成長率**

(前期比年率)

|       | 7-9月期 | 10-12月期<br>最終推計 | 増減    |
|-------|-------|-----------------|-------|
| 実質GDP | 4.9   | 3.4             | ▲ 1.5 |
| 個人消費  | 3.1   | 3.3             | 0.2   |
| 設備投資  | 1.4   | 3.7             | 2.3   |
| 住宅投資  | 6.7   | 2.8             | ▲ 3.9 |
| 輸出    | 5.4   | 5.1             | ▲ 0.3 |
| 輸入    | 4.2   | 2.2             | ▲ 2.0 |
| 政府支出  | 5.8   | 4.6             | ▲ 1.2 |

(資料) 米商務省「GDP統計」 2024年3月28日公表 (最終推計)

**需要項目別・寄与度**

(前期比年率)

|       | 7-9月期  | 10-12月期<br>最終推計 | 増減     |
|-------|--------|-----------------|--------|
| 実質GDP | 4.9    | 3.4             | ▲ 1.5  |
| 個人消費  | 2.11   | 2.20            | 0.09   |
| 設備投資  | 0.21   | 0.50            | 0.29   |
| 住宅投資  | 0.26   | 0.11            | ▲ 0.15 |
| 在庫投資  | 1.27   | ▲ 0.47          | ▲ 1.74 |
| 輸出    | 0.59   | 0.55            | ▲ 0.04 |
| 輸入    | ▲ 0.56 | ▲ 0.30          | 0.26   |
| 政府支出  | 0.99   | 0.79            | ▲ 0.20 |

(資料) 米商務省「GDP統計」 2024年3月28日公表 (最終推計)

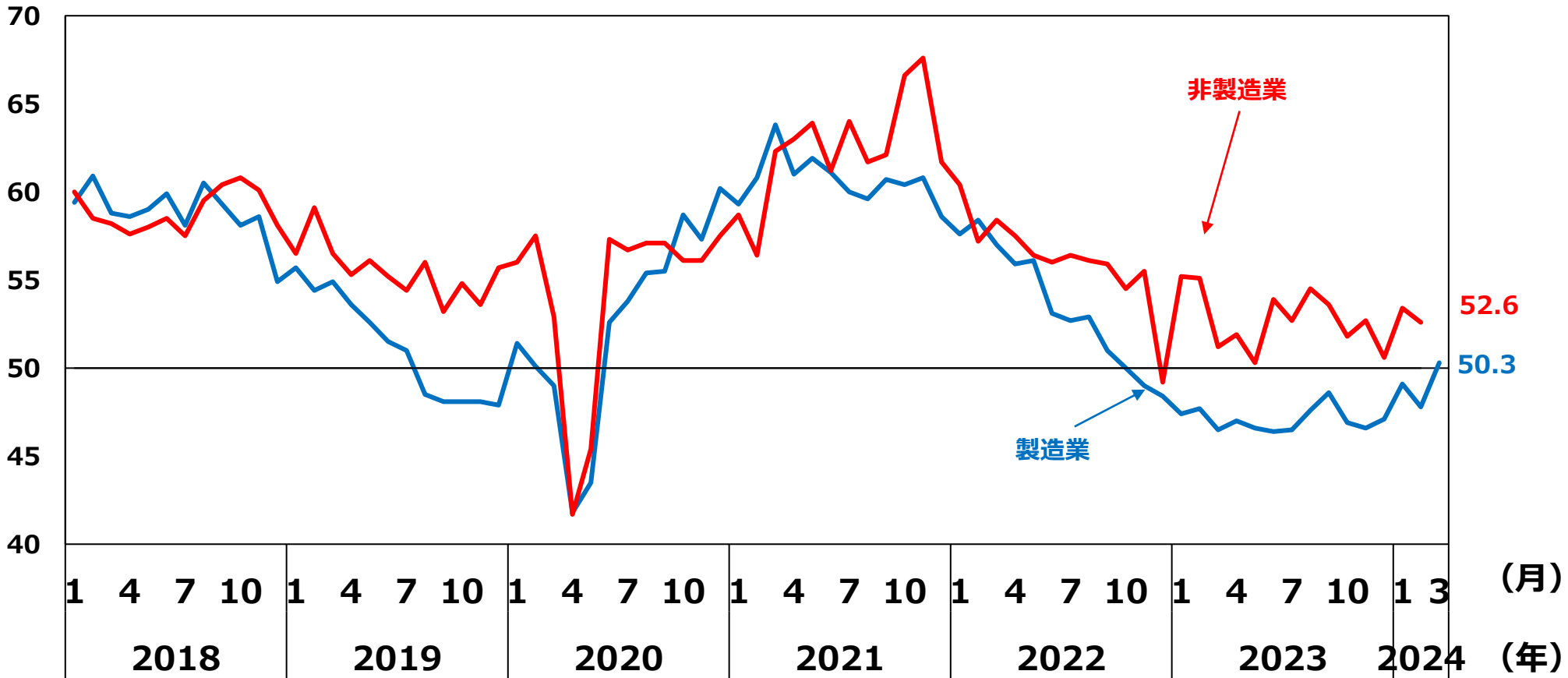
(注) 季節調整値

(資料) 米商務省「GDP統計」 2024年3月28日公表 (最終推計)

# 米国 ISM製造業・非製造業景気指数

- 24年3月ISM製造業景気指数（総合）は50.3と、前月（47.8）から上昇した。
- 24年2月ISM非製造業景気指数（総合）は52.6と、前月（53.4）から下落した。

## ISM製造業・非製造業景気指数

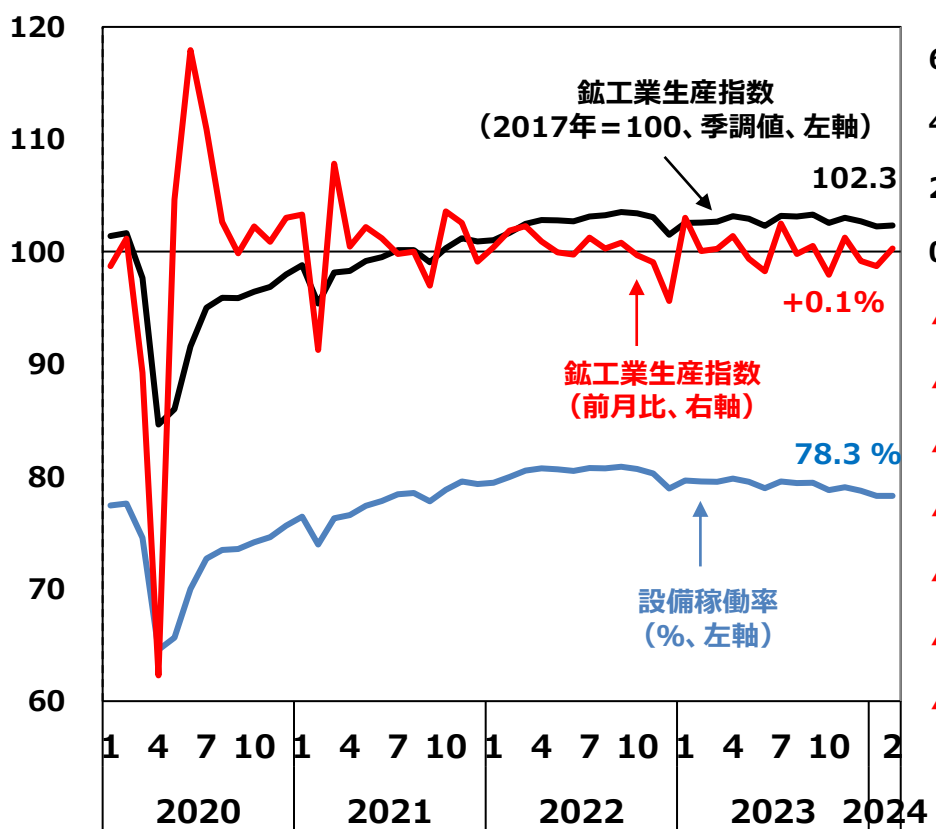


(資料) 米国供給管理協会 (ISM) 製造業：2024年4月1日公表 非製造業：2024年3月5日公表

# 米国 生産

- 2月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%（前月：同▲0.5%）と上昇。
- 内訳をみると、鉱業は同+2.2%、製造業は前月比+0.8%と上昇、電気・ガス生産は同▲7.5%と下落した。

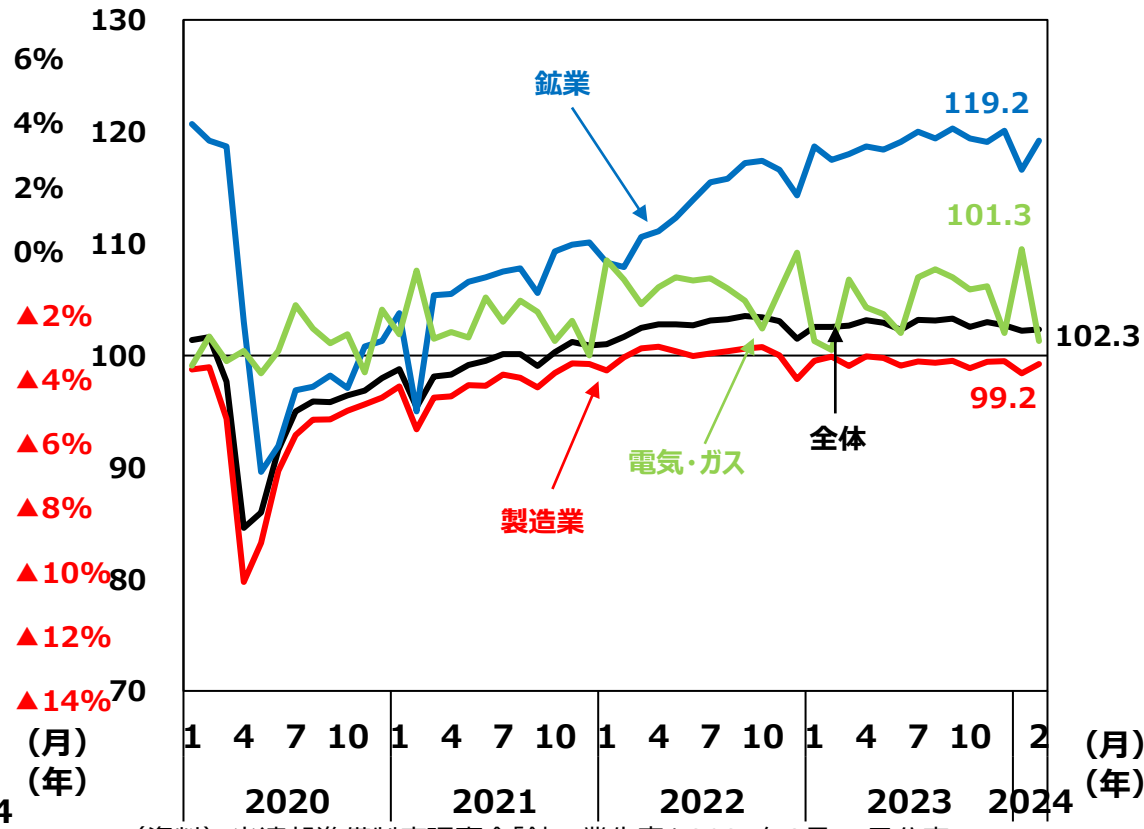
## 鉱工業生産指数と設備稼働率



(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」2024年3月15日公表

## 鉱工業生産指数の内訳

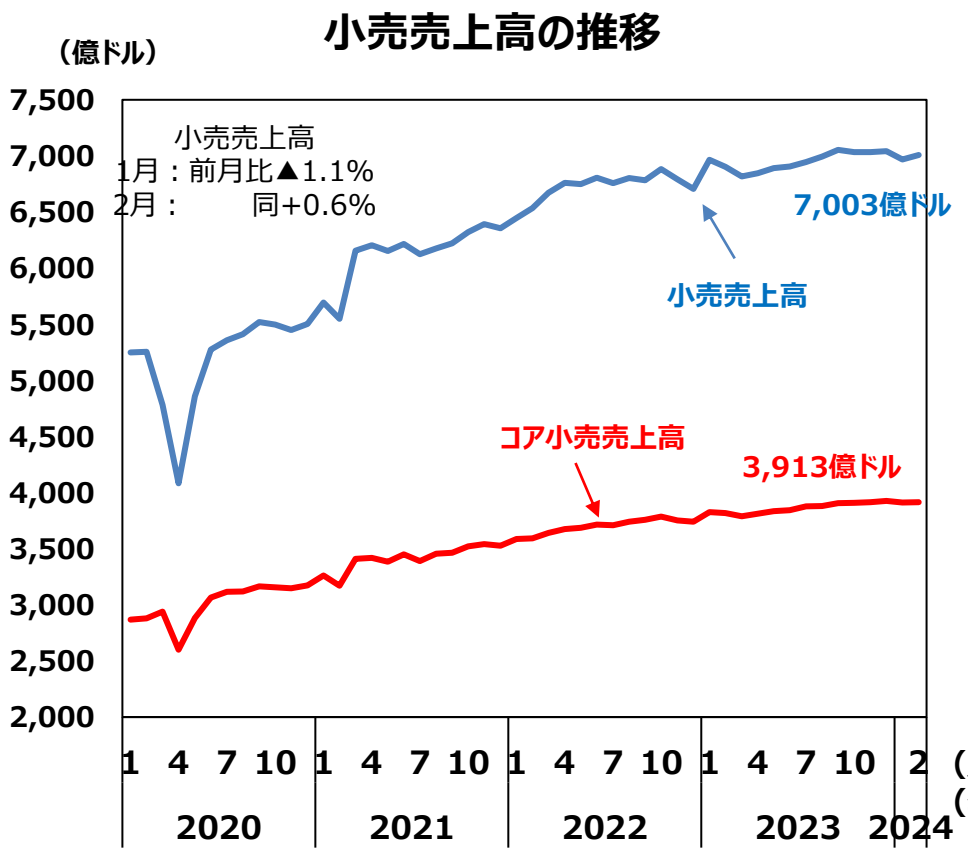
(2017年=100)



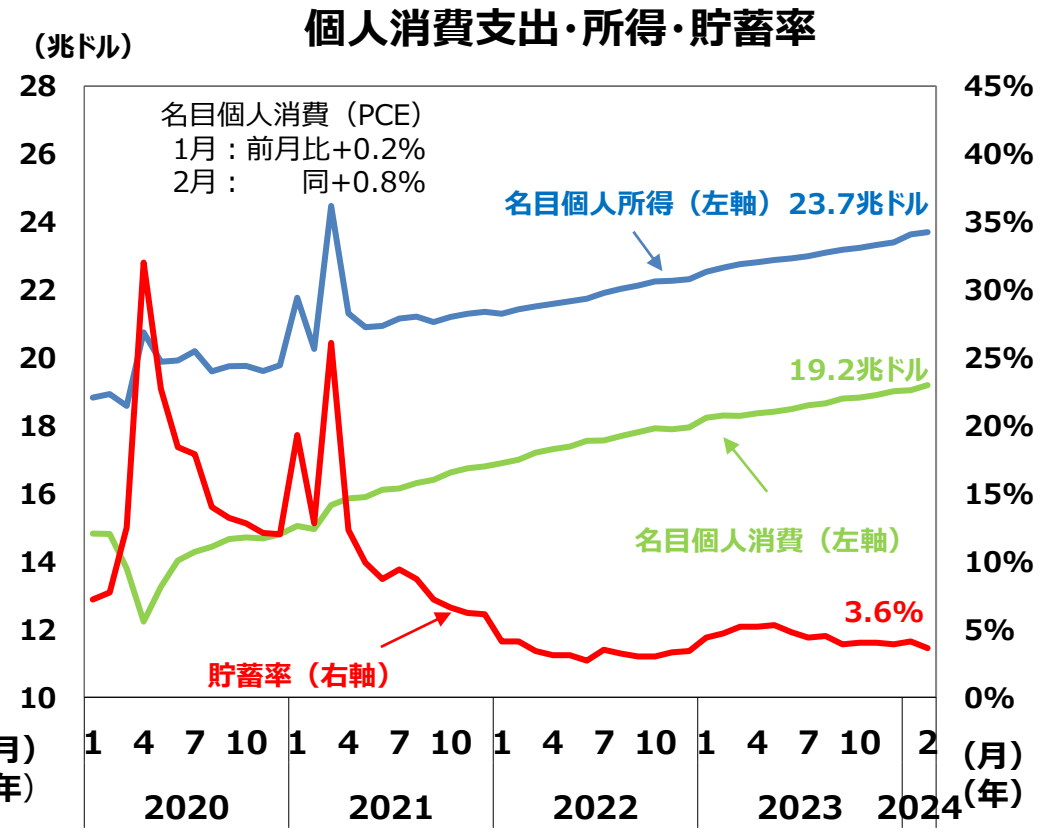
(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」2024年3月15日公表

# 米国 消費

- 24年2月の小売売上高は、前月比+0.6%（前月：同▲1.1%）となった。
- 24年1月の名目個人消費（PCE）は、前月比+0.8%（前月：同+0.2%）となった。



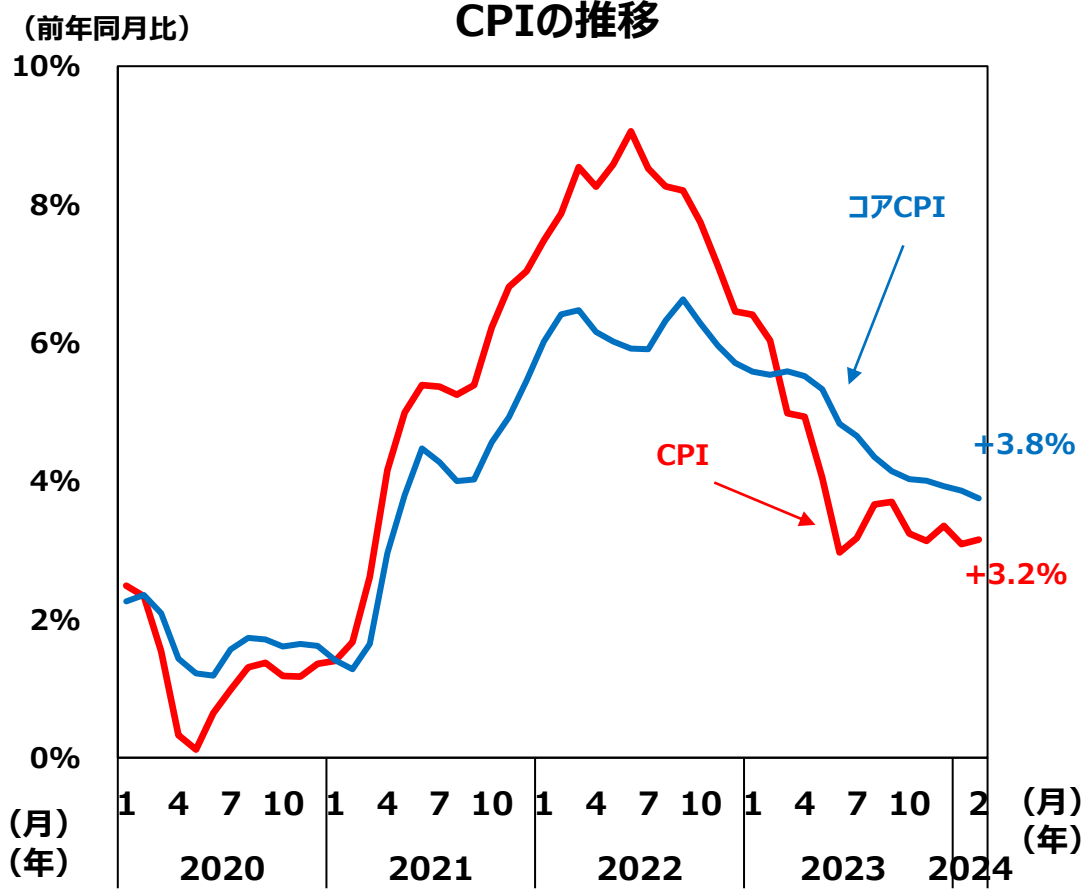
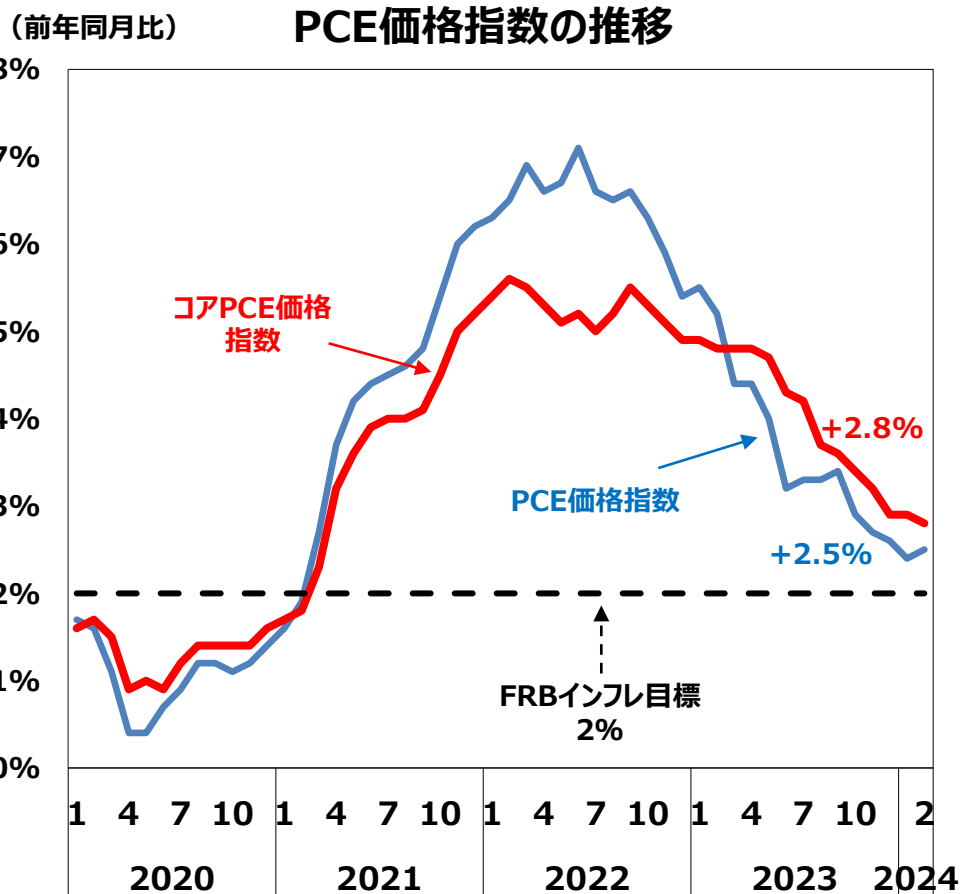
(注) 季節調整値。コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリンスタンド、建材、飲食店を除く。  
(資料) 米商務省「小売売上高」2024年3月14日公表



(注) 季節調整値  
(資料) 米商務省「個人消費・所得」2024年3月29日公表

# 米国 物価①

- 24年2月のPCE価格指数は、前年同月比+2.5%（前月:同+2.4%）。
- 24年2月の消費者物価指数（CPI）は、前年同月比+3.2%（前月:同+3.4%）。



(注) コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリン、建材、飲食を除く。

(資料) 米商務省「PCE価格指数」2024年3月29日公表

(注) コアは食料、エネルギーを除く。

(資料) 米労働省「消費者物価指数（CPI）」2024年3月12日公表

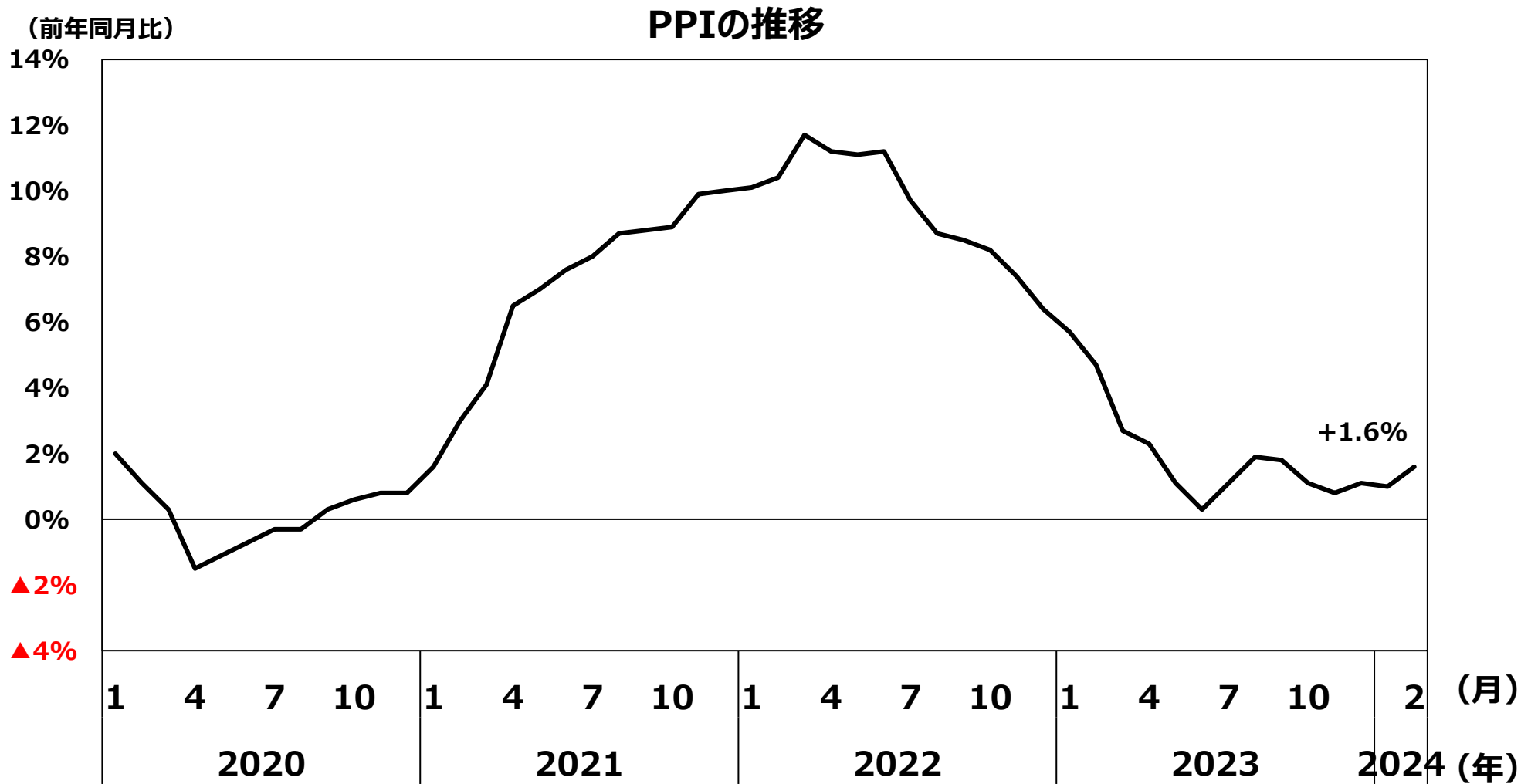
ご参考：CPIと個人消費支出（PCE）価格指数との主な違いは以下のとおり。なお、FRBはPCE価格指数をインフレ指標としている。

①計算方法：CPIはラスパイルス指数を使用しており、上方バイアスが生じる。これに対し、PCEはフィッシャー指数（ラスパイルス指数とパーシェ指数の幾何平均）を用いており、バイアスが生じにくい。②対象：CPIは消費者が直接的に支払う消費支出。PCEは保険制度による医療費の負担など間接的な支払いを含む。



# 米国 物価②

- 24年2月のPPI（卸売物価指数）は前年同月比+1.6%と、前月（同+1.0%）から加速した。

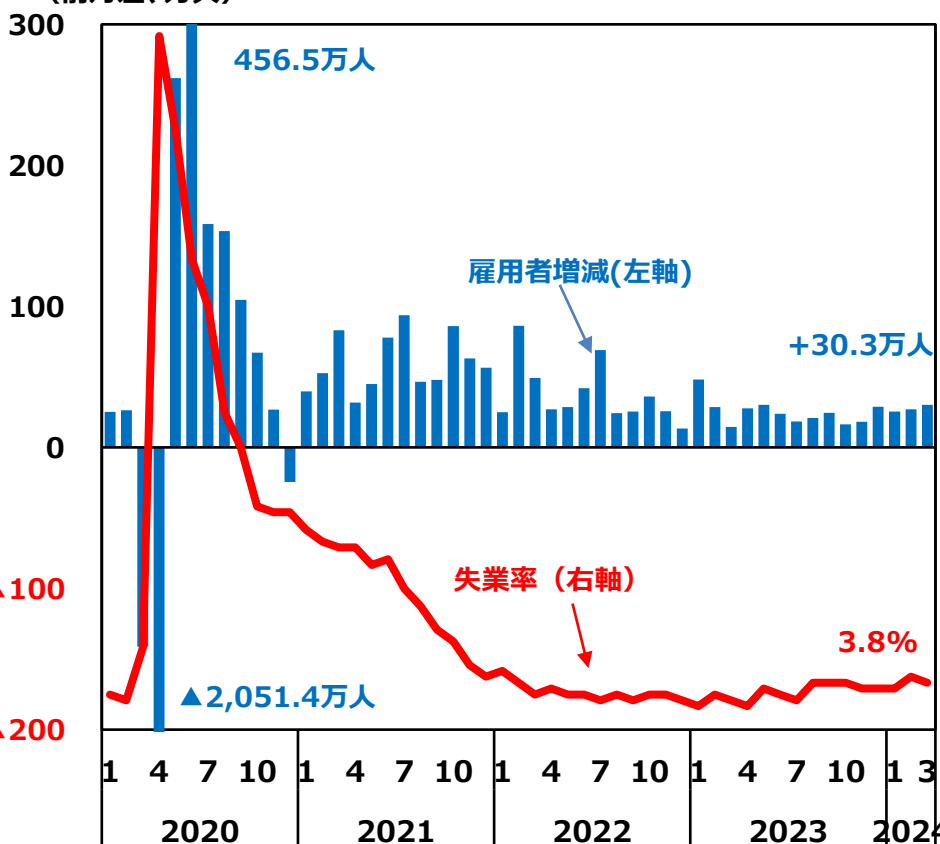


(資料) 米労働省「卸売物価指数」2024年3月14日公表

# 米国 雇用

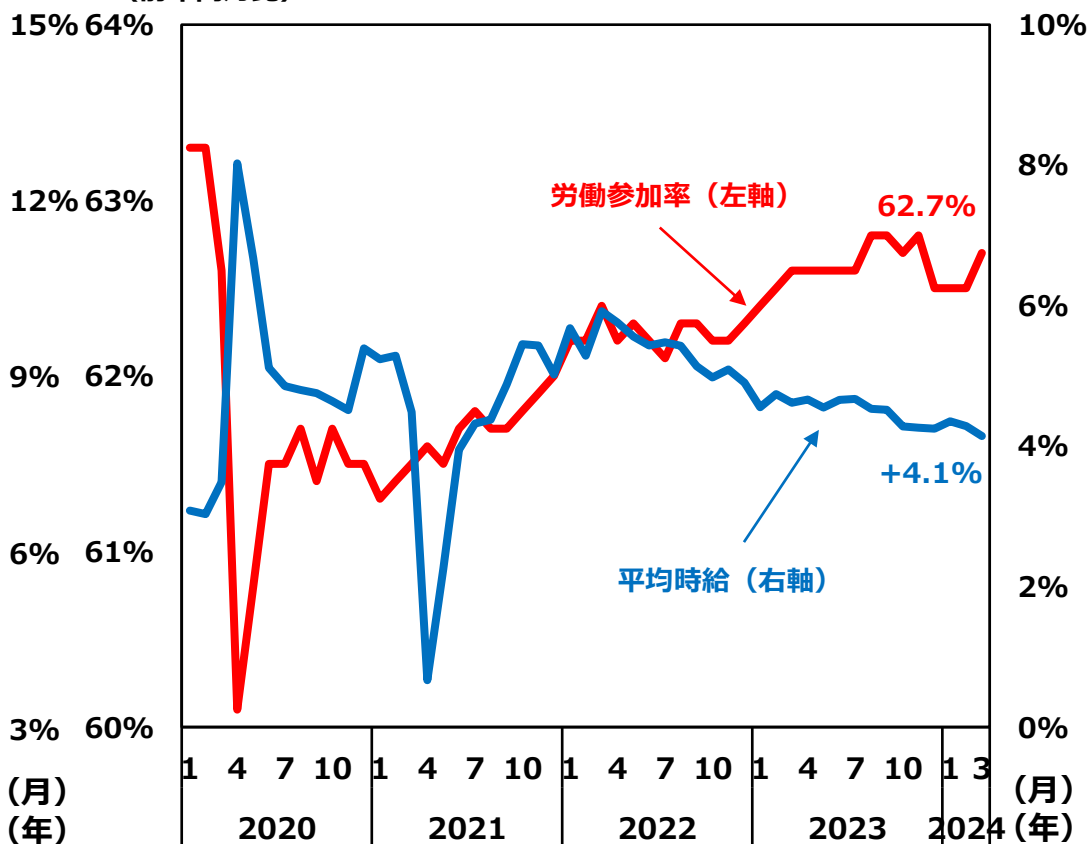
- 24年3月の非農業部門雇用者数は前月差+30.3万人と、前月（同+27.0万人）から増加幅を拡大。
- 失業率は3.8%と、前月（3.9%）から低下。
- 平均時給は前年同月比+4.1%となり、労働参加率は62.7%となった。

(前月差、万人) 雇用者数増減と失業率



(注) 季節調整値  
(資料) 米労働省 2024年4月8日公表

(前年同月比) 労働参加率と平均時給



(注) 季節調整値  
(資料) 米労働省 2024年4月8日公表

日本經濟

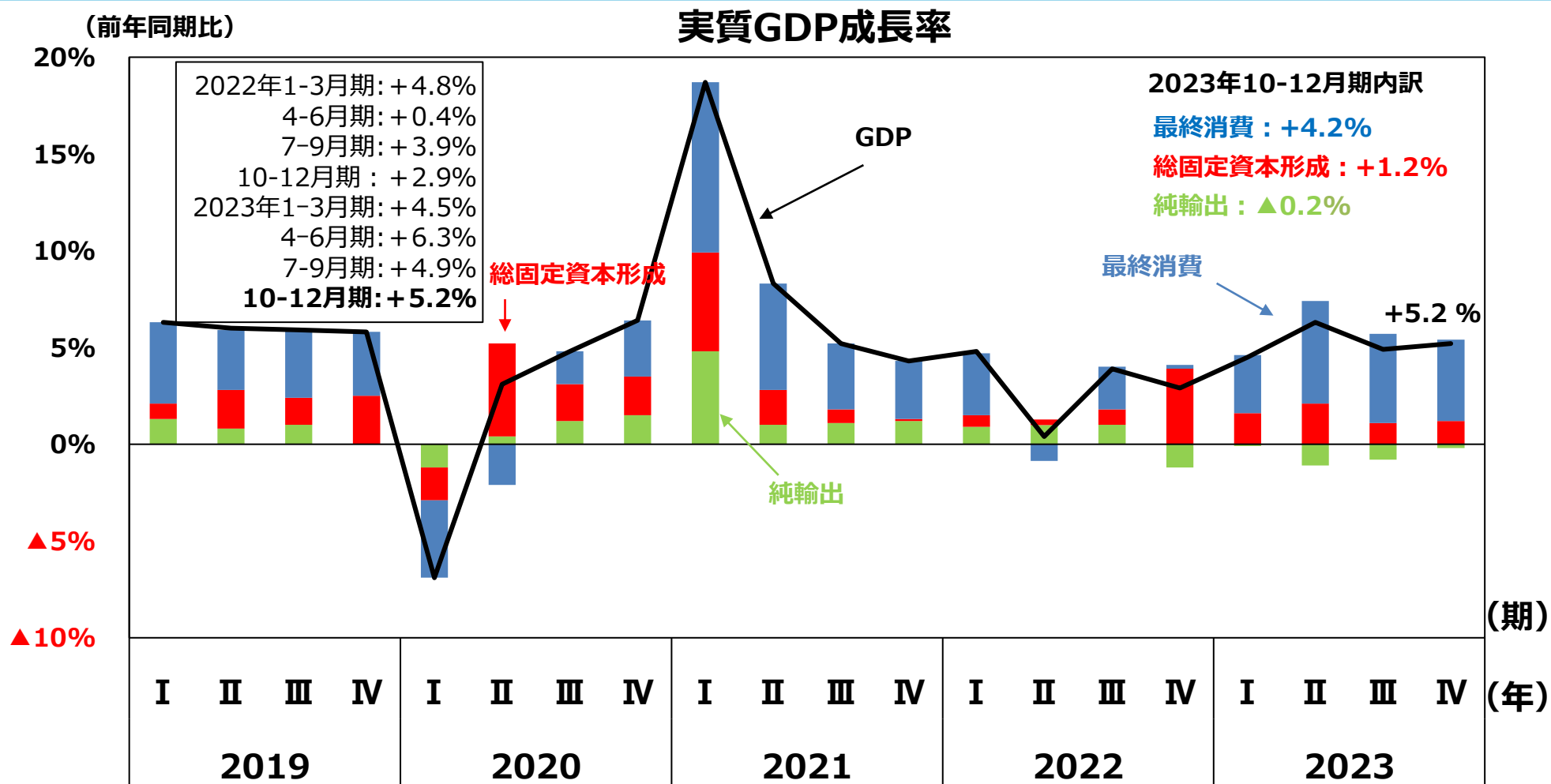
米國經濟

中國經濟

歐洲經濟

# 中国 GDP

- 23年10-12月期の実質GDP成長率は、前年同期比+5.2%と前期（同+4.9%）から加速した。
- 23年通年の実質GDP成長率は前年比+5.2%。  
政府目標の「5%前後」は達成も、ゼロコロナ政策で低迷した22年からの反動も影響。



(注) 総固定資本形成: 住宅投資、設備投資、公共投資などの固定資本の追加分。

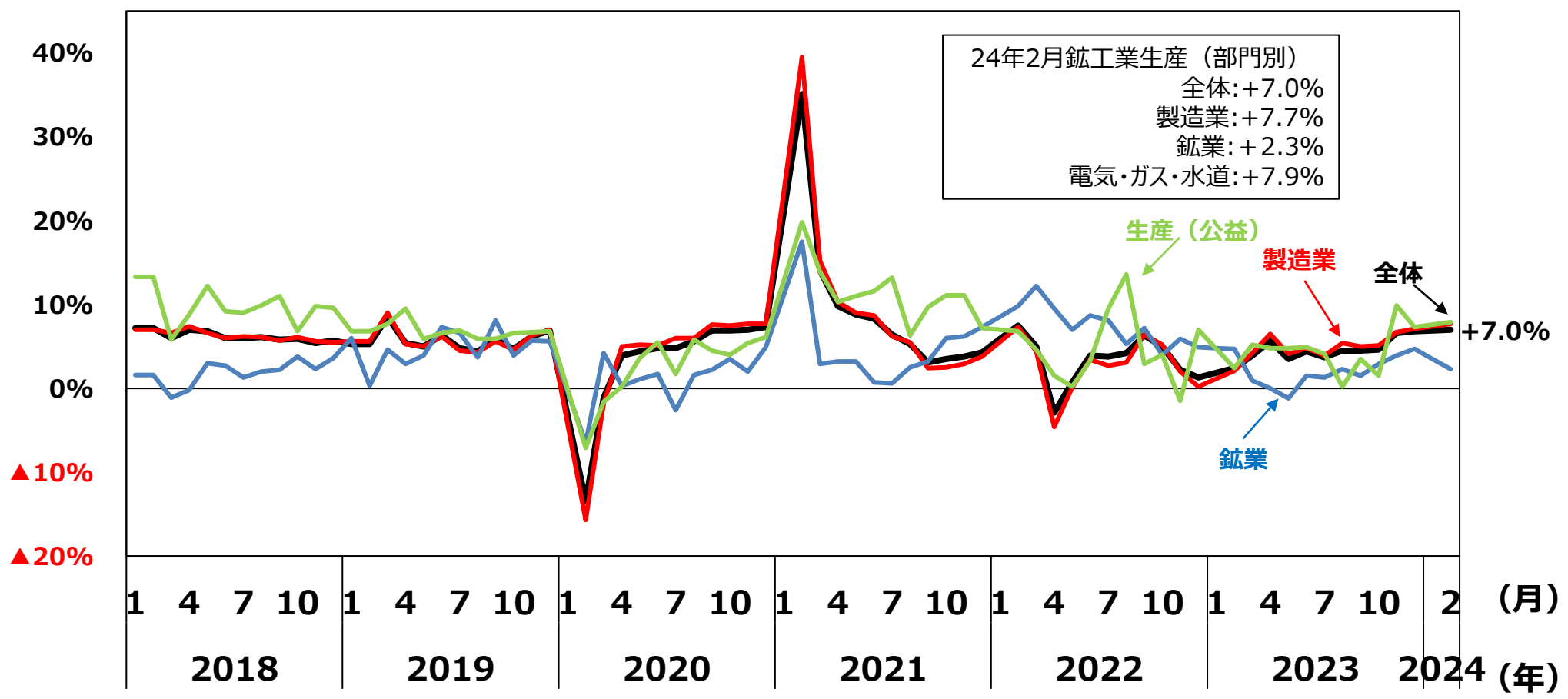
(資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年1月17日公表

# 中国 生産

- 24年1-2月の鉱工業生産は、前年同期比+7.0%と12月（同+6.8%）から加速した。
- 製造業の生産は、前年同期比+7.7%（12月：同+7.1%）、電気・ガス・水道は同+7.9%（12月：同+7.3%）と伸びが加速した。一方、鉱業は同+2.3%（12月：同+4.7%）と、伸びが鈍化した。

## 鉱工業生産

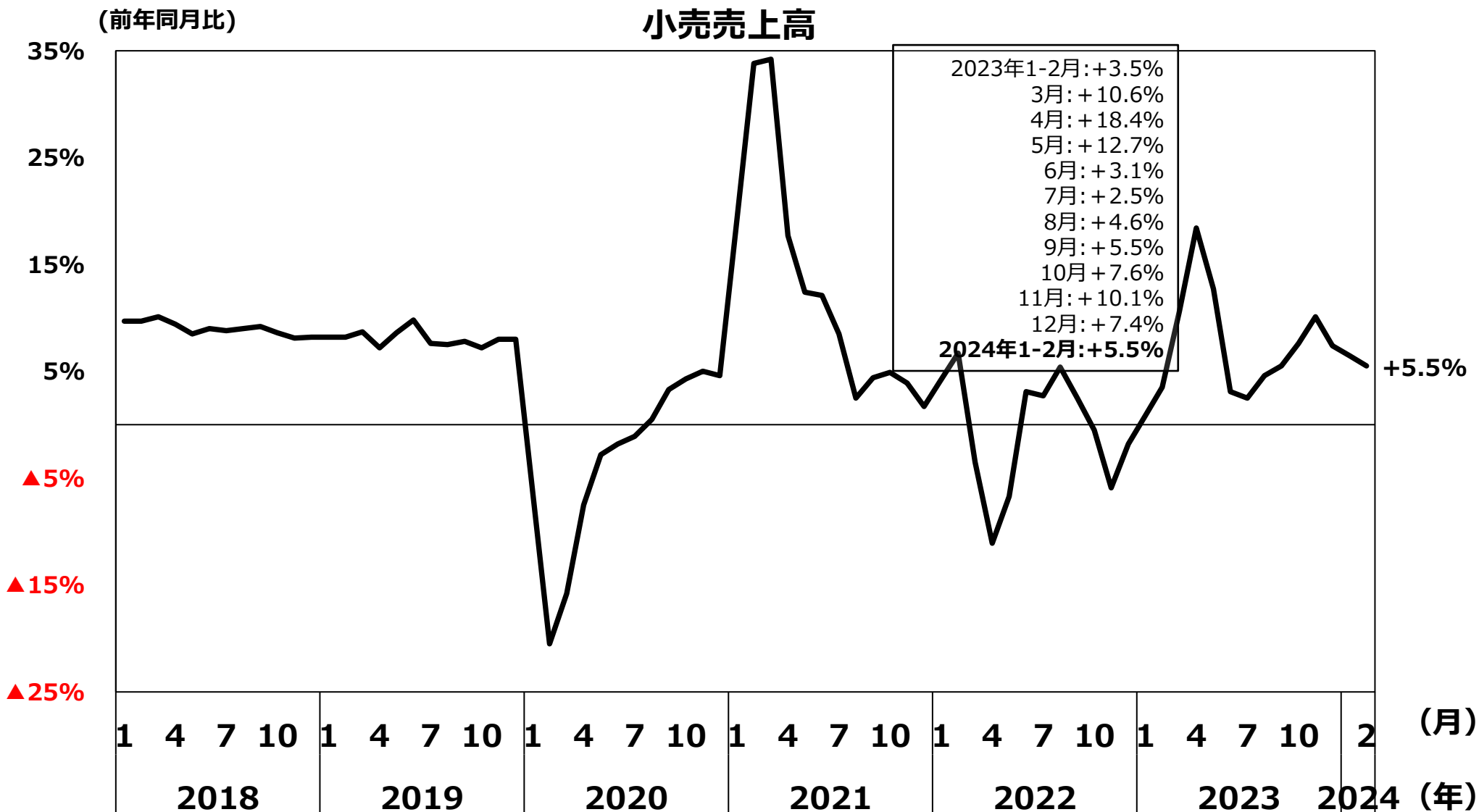
(前年同月比)



(資料) CEIC(中国国家統計局) 2024年3月18日公表

# 中国 消費

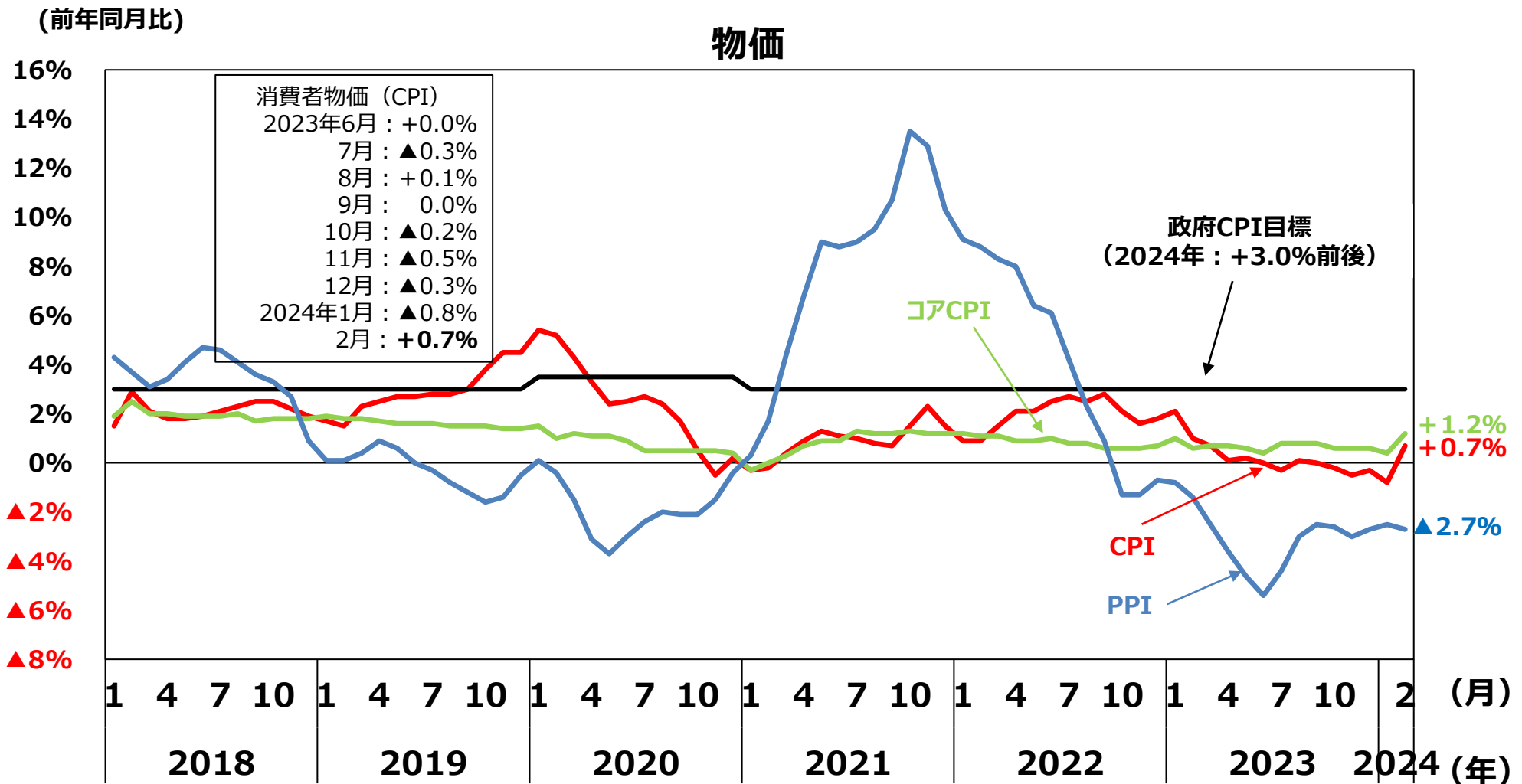
- 24年1-2月の名目小売売上高は、前年同月比+5.5%と、12月（同+7.4%）から伸びが鈍化。



(資料) CEIC(中国国家統計局) 2024年3月18日公表

# 中国 物価

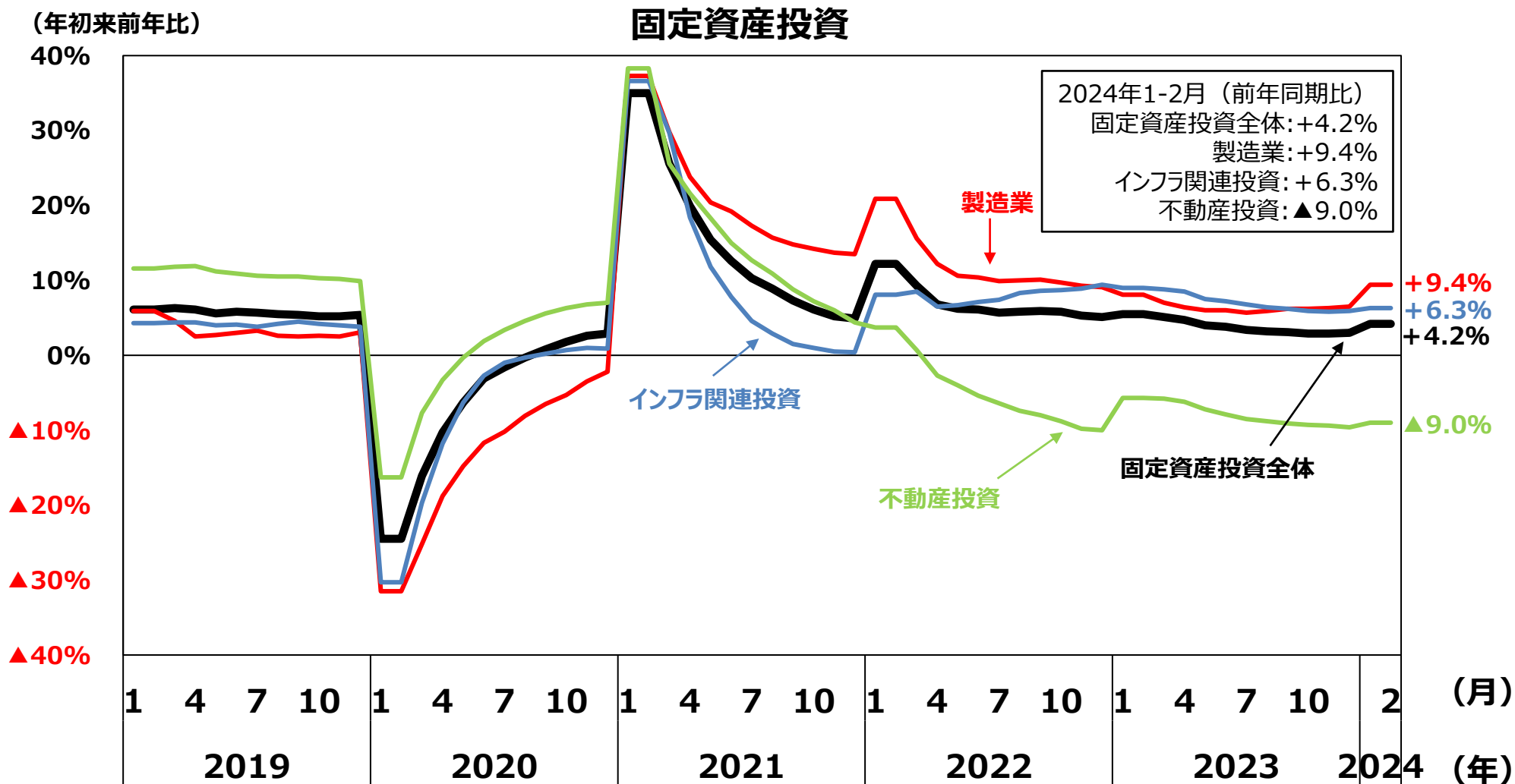
- 24年2月のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比+0.7%（前月：同▲0.8%）。
- PPI（生産者物価指数）は、前年同月比▲2.7%（前月：同▲2.5%）と17ヶ月連続のマイナスとなった。



(資料) CEIC (中国国家統計局) 2024年3月9日公表

# 中国 固定資産投資

- 24年1-2月の固定資産投資は年初来前年比（注）+4.2%と、12月（同+3.0%）から伸びが加速した。



(注) 年初来前年比：1月から当月までの累計の前年比  
 (資料) CEIC(中国国家统计局) 2024年3月18日公表



日本經濟

米國經濟

中國經濟

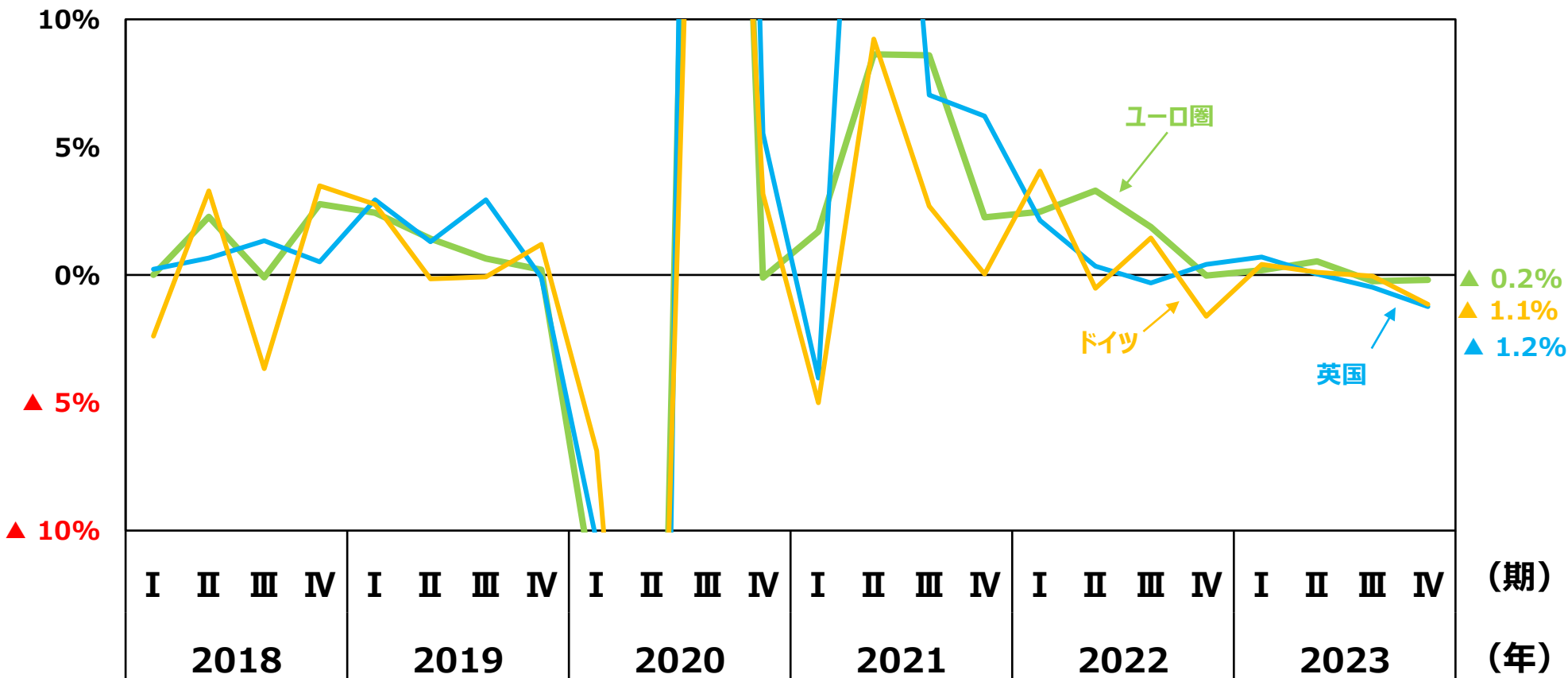
歐洲經濟

# 欧州 実質GDP成長率

- ユーロ圏の23年10-12月期GDP（確報値）は前期比年率▲0.2%と、2四半期連続のマイナス成長。
- ドイツ（確報値）は同▲1.1%と、2四半期連続のマイナス成長。
- 英国の23年10-12月期GDP（確報値）は前期比年率▲1.2%と、2四半期連続のマイナス成長。

(前期比年率)

## 実質GDP成長率

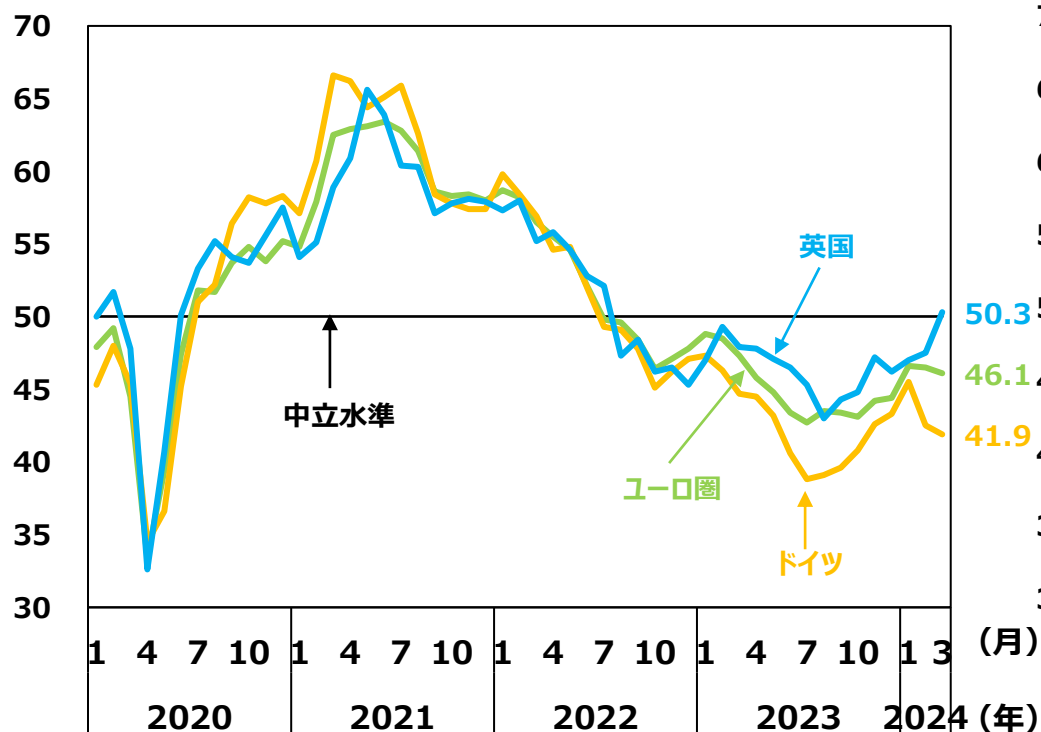


(資料) ユーロ圏：欧州委員会統計局 2024年3月8日公表（確報値）  
 英国：英国国家統計局 2024年3月28日公表（確報値）  
 ドイツ：ドイツ連邦統計局 2024年2月23日公表（確報値）

# 欧州 製造業・サービス業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の3月の製造業景況指数は、46.1と前月（46.5）から低下。  
ドイツも41.9と、前月（42.5）から低下。
- 英国の3月の製造業景況指数は、50.3と前月（47.5）から上昇。
- ユーロ圏の3月のサービス業景況指数は、51.5と前月（50.2）から上昇。  
ドイツも50.1と、前月（48.3）から上昇。
- 英国の3月のサービス業景況指数は、53.1と前月（53.8）から低下。

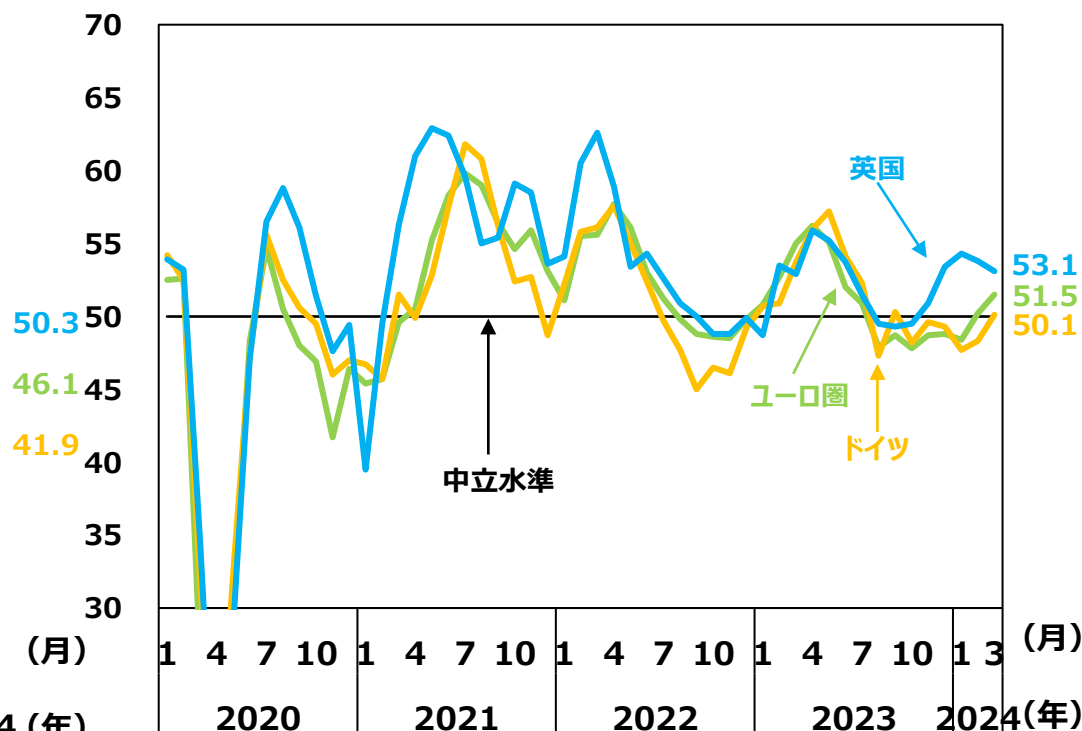
## 製造業景況指数



(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。

(資料) S&P Global「Markit PMI」2024年4月2日公表（確報値）

## サービス業景況指数



(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。

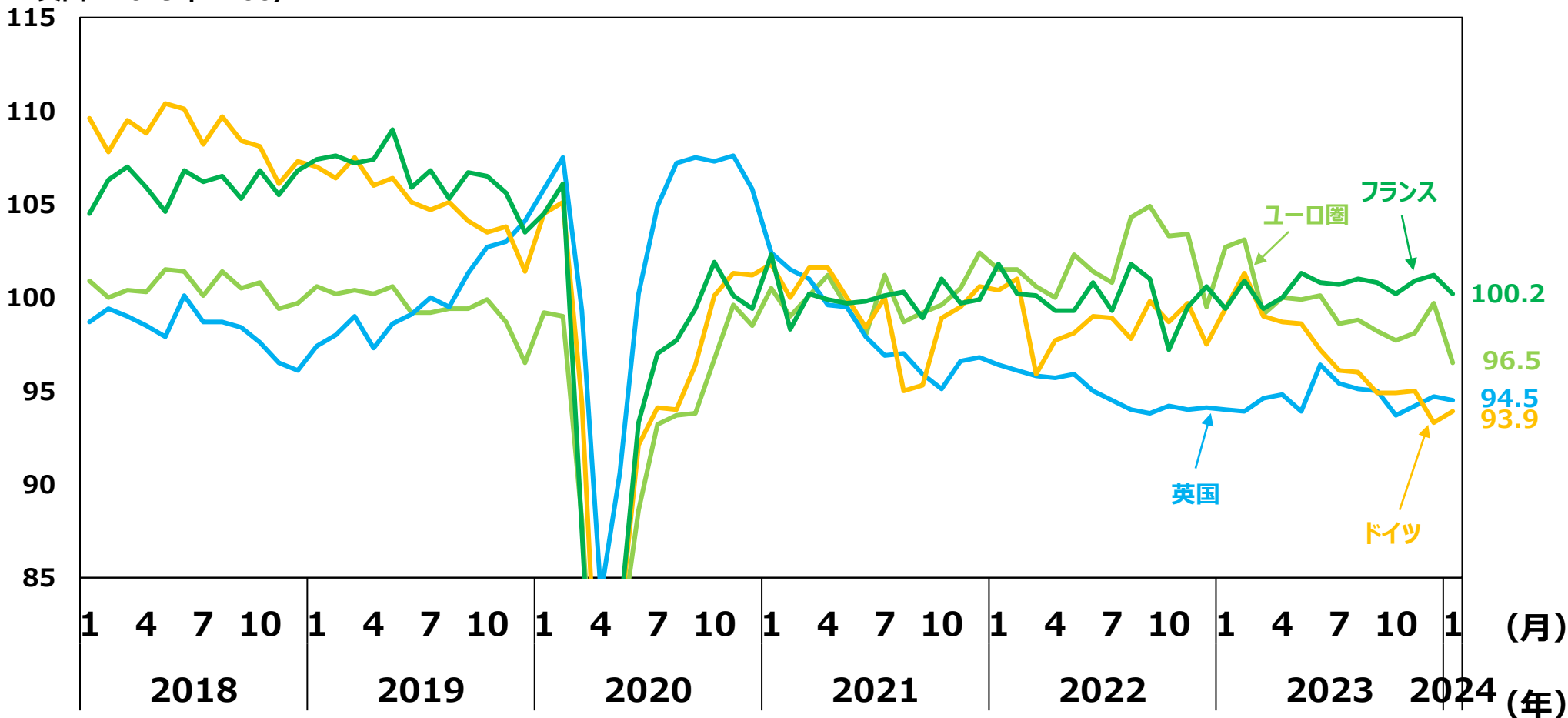
(資料) S&P Global「Markit PMI」2024年4月4日公表（確報値）

# 欧州 生産

- ユーロ圏の1月の鉱工業生産指数は前月比▲3.2%と、3ヶ月ぶりの低下。  
国別で見ると、フランスは同▲1.0%と低下した一方で、ドイツは同+0.6%と上昇。
- 英国の1月の鉱工業生産指数は前月比▲0.2%と、3ヶ月ぶりの低下。

(ユーロ圏・ドイツ・フランス：2021年=100、  
英国：2019年=100)

## 鉱工業生産



(注) 季節調整値

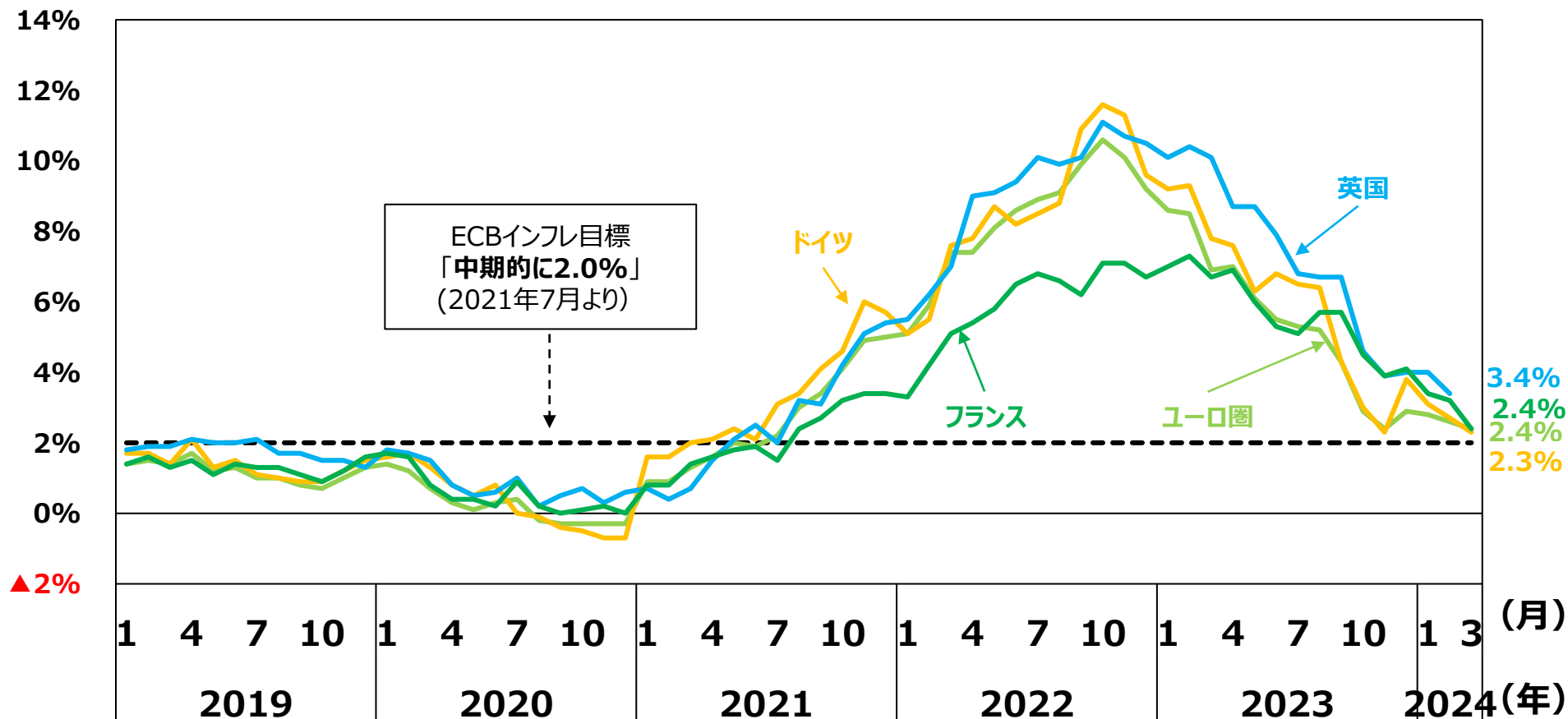
(資料) 欧州委員会統計局 2024年3月13日公表、英国国家統計局 2024年3月13日公表

# 欧州 物価①

- ユーロ圏の3月の消費者物価（HICP、速報値）は、前年同月比+2.4%と、前月（同+2.6%）から伸びが鈍化。国別では、ドイツは同+2.3%（前月：同+2.7%）、フランスは同+2.4%（前月：同+3.2%）と、いずれも伸びが鈍化。
- 英国の2月の消費者物価（CPI）は、前年同月比+3.4%と、前月（同+4.0%）から伸びが鈍化。

(前年同月比)

## 消費者物価指数

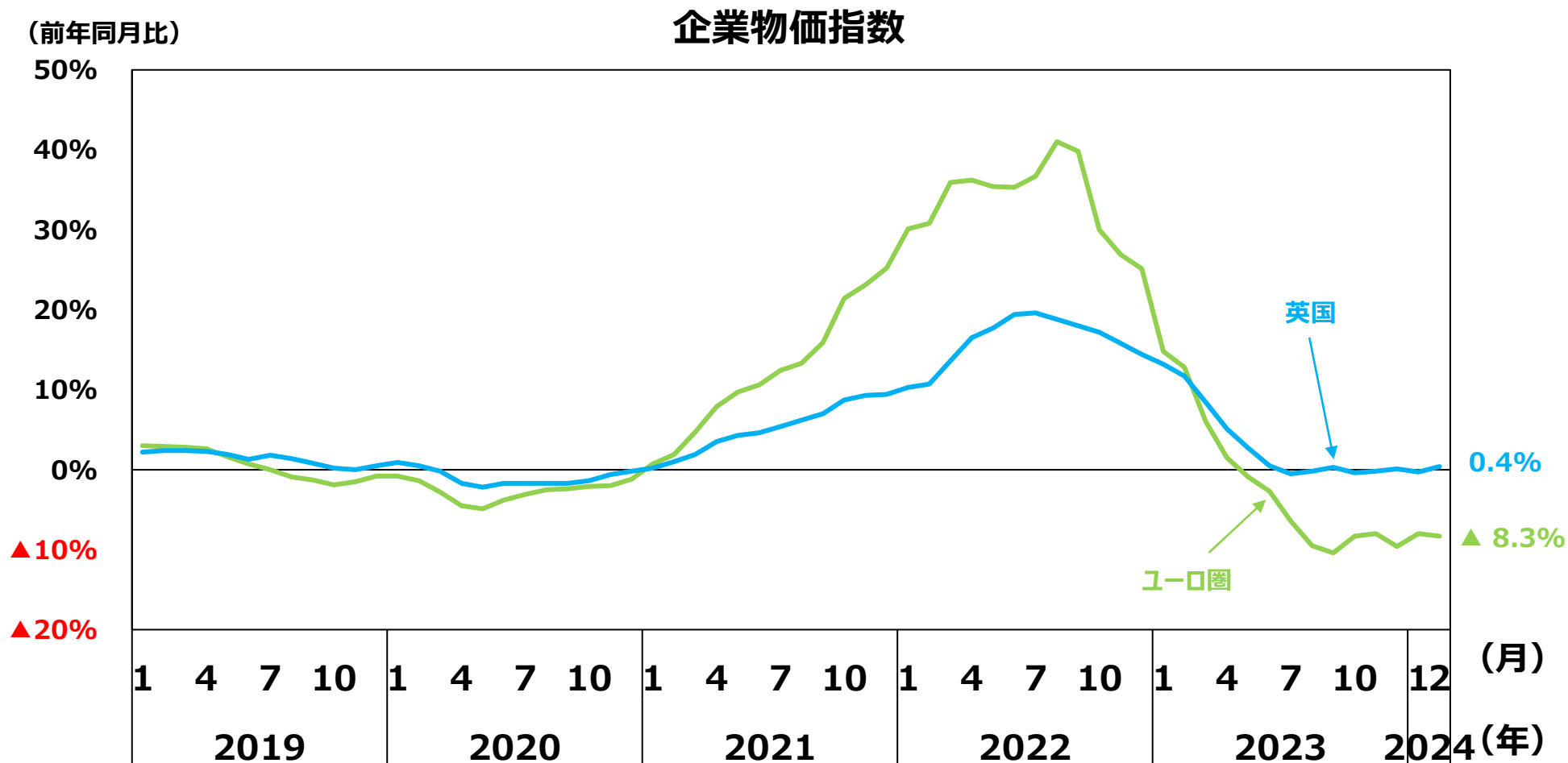


(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス：欧州委員会統計局 2024年4月3日公表 (速報値)

英国：英国国家統計局 2024年3月20日公表

# 欧州 物価②

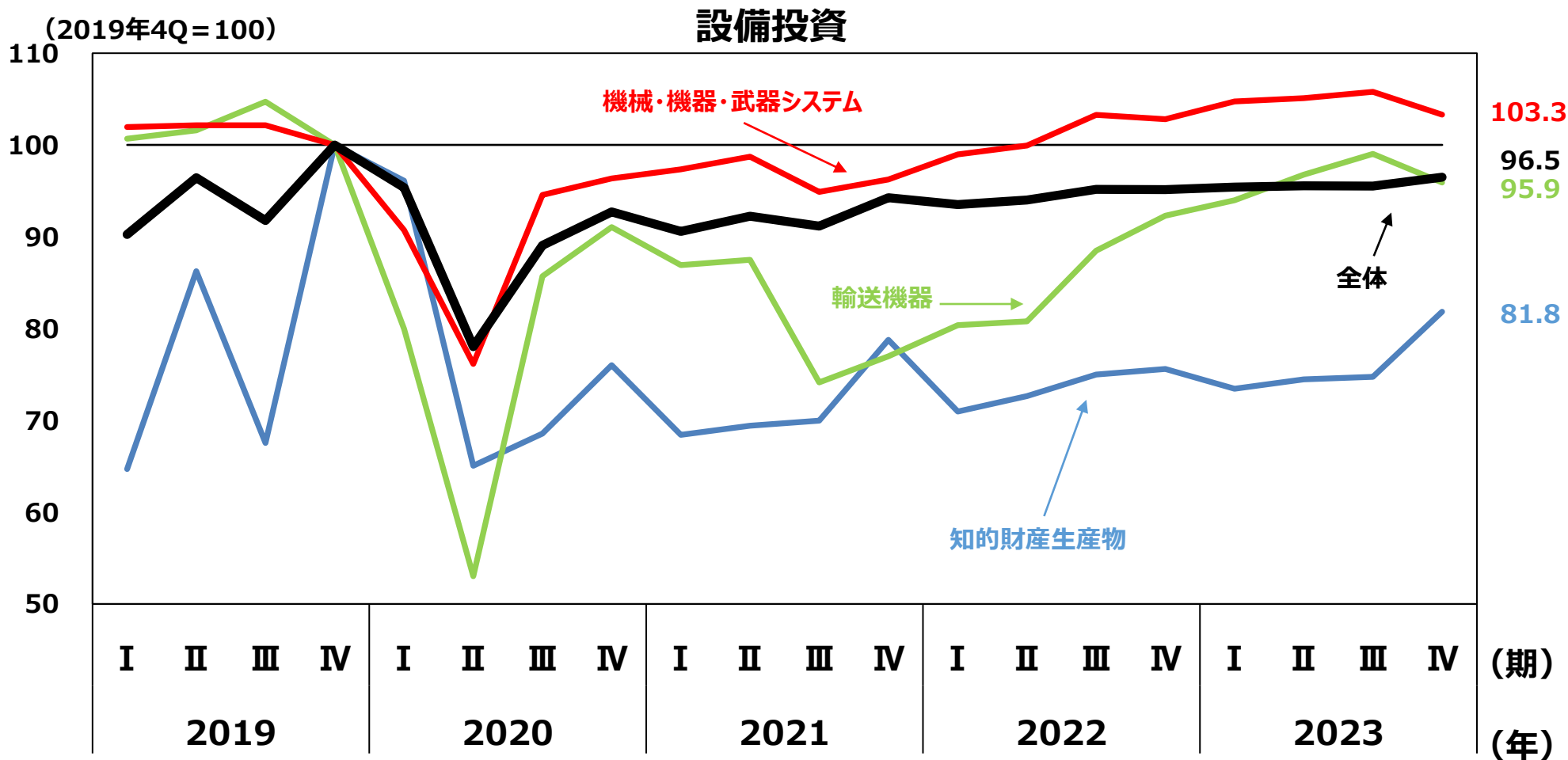
- ユーロ圏の2月の企業物価指数は、前年同月比▲8.3%（前月：同▲8.0%）。
- 英国の2月の生産者物価指数（出荷）は、前年同月比+0.4%（前月：同▲0.3%）。



(資料) 欧州委員会統計局 2024年4月4日公表  
英国国家統計局 2024年3月20日公表

# 欧州 設備投資

- 23年10-12月期の設備投資額は、コロナ禍前の19年10-12月期と比較すると、全体では▲3.5%。
- 分野別では、機械・機器・武器システムは+3.3%、輸送機器は▲4.1%、知的財産生産物は▲18.2%。



(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2024年3月8日公表

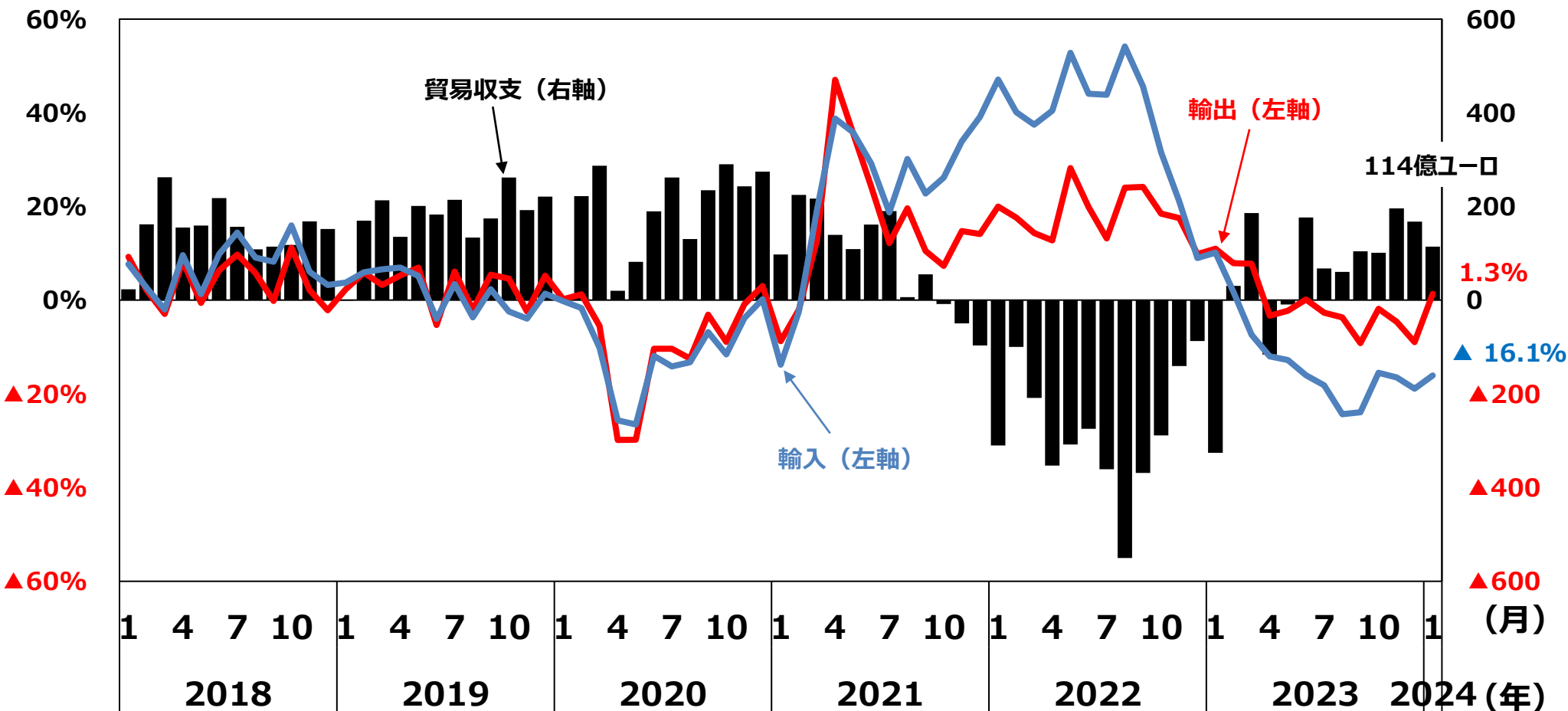
# 欧州 輸出入

- ユーロ圏の1月の輸出額（2,259億ユーロ）は、前年同月比+1.3%、輸入額（2,145億ユーロ）は、同▲16.1%。
- 貿易収支は+114億ユーロと、8ヶ月連続の黒字。

(前年同月比)

## 貿易収支

(億ユーロ)



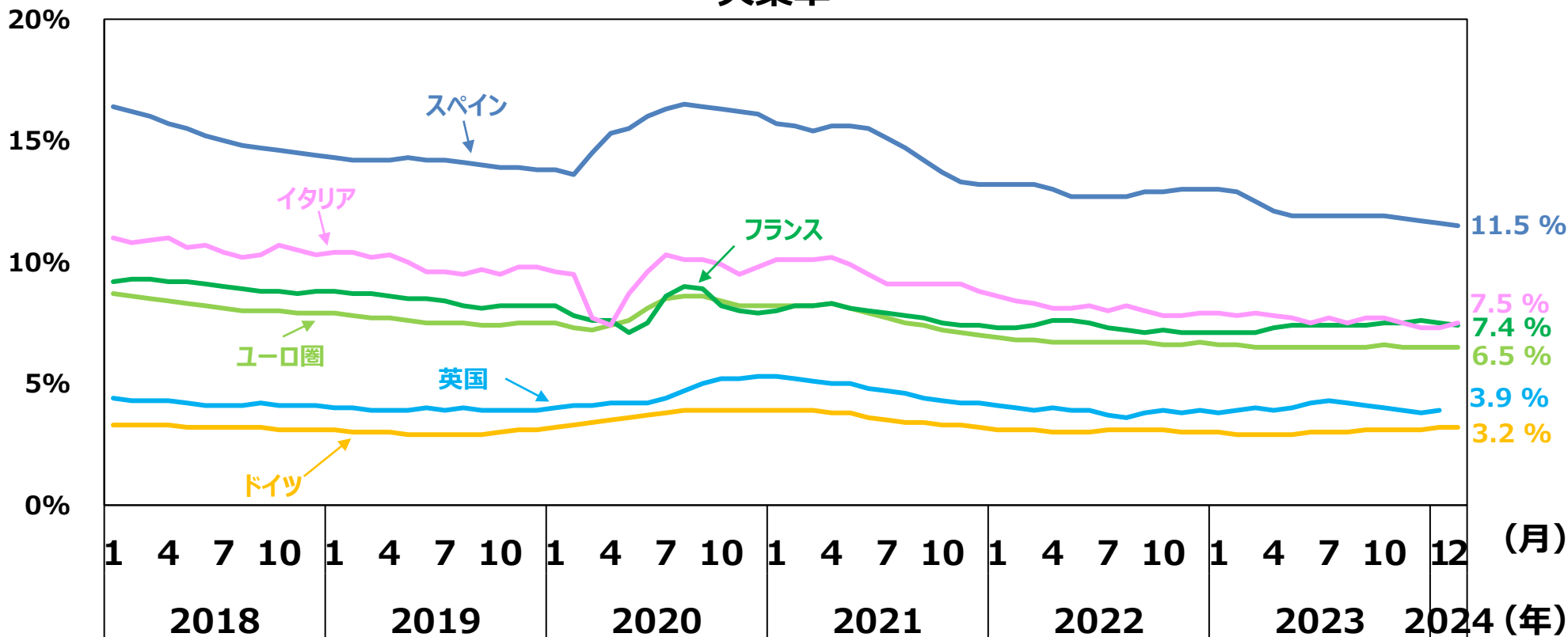
(資料) 欧州委員会統計局 2024年3月18日公表



# 欧州 雇用

- ユーロ圏の2月の失業率は6.5%と、前月（6.5%）から横ばい。
- 国別では、フランス（7.5%→7.4%）、スペイン（11.6%→11.5%）は低下し、イタリア（7.3%→7.5%）は上昇。ドイツ（3.2%→3.2%）は横ばい。
- 英国の1月の失業率は3.9%と、前月（3.8%）から上昇。

## 失業率



(注) 季節調整値、英国は3ヶ月後方移動平均値

(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン：欧州委員会統計局 2024年4月3日公表

英国：英国国家統計局 2024年3月12日公表